

目 次

I. テーマ設定理由	23
II. 研究目標	23
III. 研究の視点	23
IV. 研究の全体構想図	24
V. 研究内容	25
1. 2年保育の必要性についての調査結果	25
(1) アンケート調査	25
(2) 調査結果	25
2. 教育課程について	26
(1) 幼稚園教育の目的	26
(2) 幼稚園教育の目標	26
(3) 幼稚園教育の基本	27
(4) 教育課程の編成	27
3. 指導計画の作成	28
(1) 指導計画の作成にあたって	28
4. 幼児期の発達について	29
(1) 発達の理解	30
(2) 発達を促すもの	30
(3) 幼児期の発達の特性	30
(4) 4歳児の発達の特徵	31
(5) 5歳児の発達の特徵	31
5. 異年齢との育ち合い	31
(1) 4歳児にとっての育ち	32
(2) 5歳児にとっての育ち	32
6. 教師の役割	32
(1) 活動の理解者としての役割	32
(2) 共同作業者・幼児と共鳴する者としての役割	32
(3) 憧れを形成するモデルとしての役割	32
(4) 幼児の遊びの援助者としての役割	32
VI. 保育実践	33
1. 検証保育（宜野湾市立志真志幼稚園）	33
2. 検証保育（北中城村立北中城幼稚園）	36
VII. 教育課程編成と年間指導計画	41
1. 2年保育の教育課程	41
(1) 4歳児の教育課程	41
(2) 5歳児の教育課程	42
2. 年間指導計画	43
(1) 4歳児	43
(2) 5歳児	54
VIII. 研究の成果と今後の課題	65
1. 研究の成果	65
2. 今後の課題	65
3. 終わりに	66
〈主な引用文献・参考文献〉	66

心豊かな幼児の育ち合いをめざして

— 2年保育の教育課程の編成を通して—

宜野湾市立志真志幼稚園教諭 日渡依子

宜野湾市立志長田幼稚園教諭 宮城啓子

I. テーマ設定の理由

近年の都市化，核家族化，少子化，情報化の進展，女性の社会進出といった社会の変化は，幼児の直接的環境である家庭や親の意識にも影響を及ぼし，子育てをめぐる状況も多様に変化してきた。それによって，幼稚園の役割は以前にも増して重要になってきた。

わが国においては，幼稚園，小学校，中学校などの学校段階にわかれ，それぞれの学校の特性に応じた目的や目標をもって教育が実現されている。

幼稚園は，本来3歳から小学校入学までの幼児を入園させて教育を行う学校である。このことから，幼稚園においては，幼児期にふさわしい教育の展開をめざす教育のあり方を理解し，幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実情に即した教育課程を編成することが大切である。

しかし，本県及び宜野湾市においては，5歳児の1年保育の幼稚園が多い現状である。そこで，幼稚園での生活を見てみると，園生活に慣れにくく，遊びを傍観したりトラブルや癇癪を起こすなどの幼児の姿が見られ，一年間という保育期間では，幼児一人一人の発達の特性を十分理解し，心豊かな幼児や生きる力の基礎となる豊かな経験をさせる等の支援をすることが難しいように感じられる。また，子育てをめぐる保護者の不安や悩みを理解し，子育て支援にも応じられない状況も多々ある。

さて，平成10年12月に改訂され，平成12年度より実施されている幼稚園教育要領では，五つの領域50項目の指導内容（経験）があり，幼児

理解に基づいた幼児期にふさわしい生活やきめの細かい指導をおこなうことによって，主体的に学ぶ力の基礎となる基本的生活習慣の形成，道徳性の芽生えや知的発達，思いやりの心などが育まれ，心豊かな幼児の育ち合いにつながると考える。このことは，スムーズな小学校教育への移行においても大切であると考ええる。また，保護者の「近くに同年齢の遊び友達がいない」，「遊び場がない」，「子育てによるストレス」などの多くの悩みについても，2年保育を実施することによって緩和され，保護者との関わりあいが増え，十分な支援体制を整えてくると考える。

そこで，幼児の生活が，家庭，地域社会，幼稚園と連続的に営まれていることから，幼児の発達の特性や，幼稚園や地域・保護者との連携を密にして，また，幼稚園への要望を取り入れつつ，見通しをもった教育課程の編成と実施につなげたいと思い本テーマを設定した。

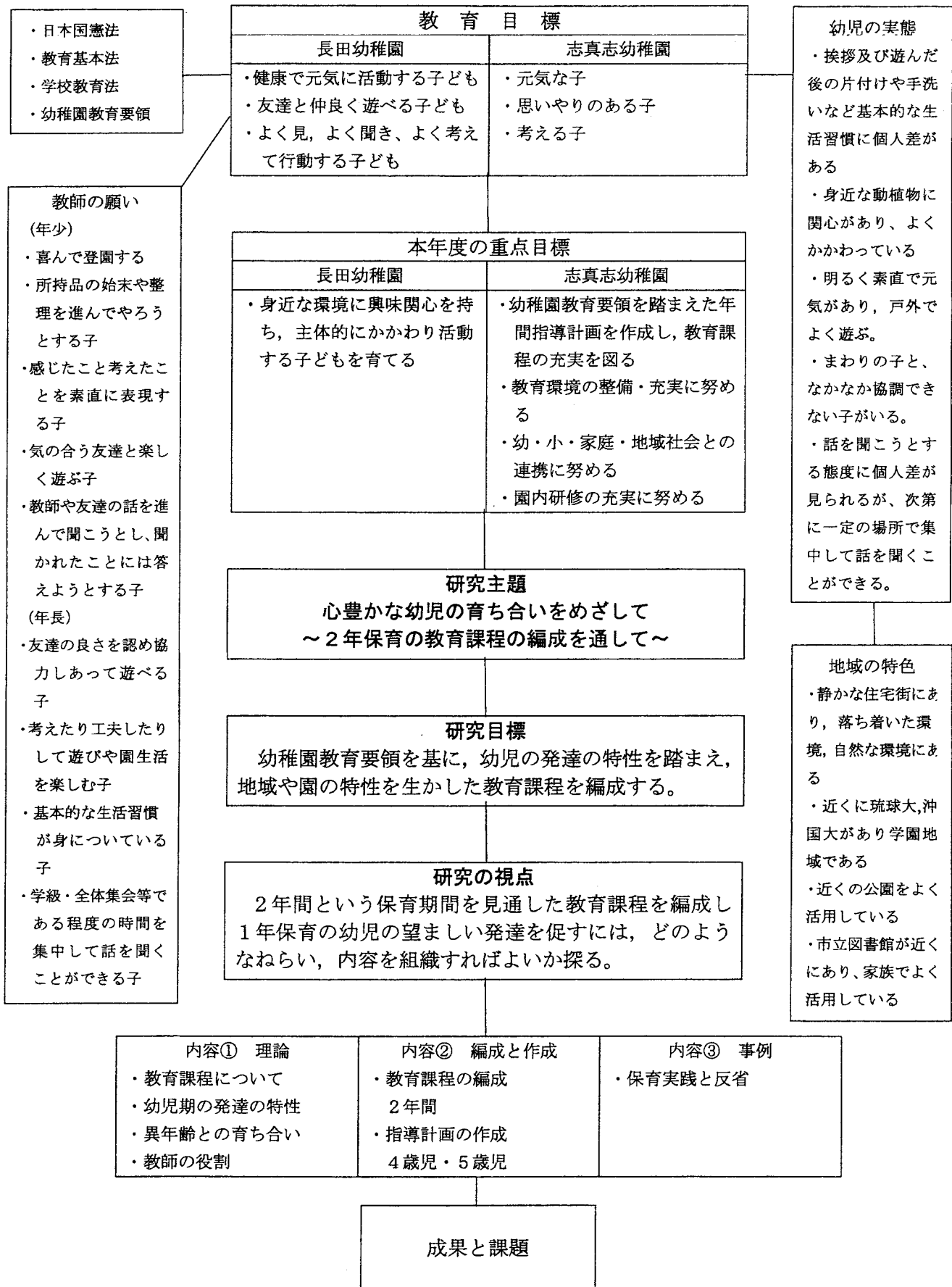
II. 研究目標

幼児の発達の特性を踏まえ，地域や園の特色を生かした教育課程を編成する。

III. 研究の視点

2年間という保育期間を見通した教育課程を編成し，1年保育の幼児の望ましい発達を促すには，どのようなねらい，内容を組織すればよいか探る。

IV. 研究の全体構想図



V. 研究内容

1. 2年保育の必要性についての調査結果

(1) アンケート調査

調査期間 平成12年9月

調査対象 宜野湾市立幼稚園8園の保護者
(1園1クラス) 230人

(2) 調査結果

問1. お子さんは降園後、主にどこで過ごしていますか。

① 自宅(面倒を見る人がいる)	64.3%
② 学童保育	20.9%
③ 祖父母や知人宅	7.8%
④ 自宅(面倒を見る人がいない)	2.2%
⑤ 親の職場	1.7%
⑥ 児童館・保育施設	1.3%
⑦ 幼稚園や公園	0.9%
⑧ 塾やピアノ教室など	0.4%

自宅に帰る子が64.3%で一番多い。次いで学童保育を利用する幼児が20.9%で、二重保育を受ける幼児がいる。家で面倒を見る人はいないが自宅へ帰る子が2.2%いて安全面が心配される。

問2. これからの公立幼稚園に何年保育を望みますか。

① 2年保育 (4歳から幼稚園に入園して保育する)	41.7%
② 1年保育 (5歳から幼稚園に入園して保育する)	37.0%
③ 3年保育 (3歳から幼稚園に入園して保育する)	21.3%

2年保育を望むが41.7%、3年保育を望むが21.3%で合計63%となっている。半数以上の保護者が1年保育では満足せず、2～3年保育を望んでいると考えられる。

問3. もし、あなたに4歳のお子さんがいるとしたら、公立幼稚園の2年保育に入園させたいと思いますか。

① はい	65.2%
② いいえ	34.8%

「はい」が65.2%で、半数以上の保護者が2年保育を望んでいる事がわかる。

問4. もし、あなたに3歳のお子さんがいるとしたら、公立幼稚園の3年保育に入園させたいと思いますか。

① はい	34.8%
② いいえ	65.2%

34.8%の保護者が、3年保育を望んでいることがわかる。

問5. 公立幼稚園で預かり保育が実施された場合、預けますか。

① はい	76.5%
② いいえ	23.5%

「はい」が76.5%で、過半数以上の保護者が預かり保育を希望していることがわかる。

問6. 「預ける」と答えた人の理由

① 共働きのため	46.6%
② パート時間の都合	19.9%
③ 降園後、自宅の近所に遊び友達や場所がない	16.5%
④ 親の用事ができる	7.9%
⑤ 身内の看病や介護のため	3.4%
⑥ その他	5.7%

預ける理由が、共働きやパートのためで、合計して66.5%となる。半数以上の母親が働きに出ているのが推測される。また、自宅近くに遊び友達や遊び場がないという理由が16.5%もあり、改めて幼稚園が幼児にとって重要な場所であるかわかる。

問7. 「預けない」と答えた人の理由

① 母親が家にいる	79.6%
② 降園後家で面倒をみる人がいる	5.5%
③ 学童などに預ける	5.5%
④ 近所の親戚や知人宅に行く	1.9%
⑤ 幼稚園や公園で遊ぶ	1.9%
⑥ その他	5.6%

預かりの必要のない理由は、家で面倒をみてくれる人がいるからで、学童へ行くのは5.5%と低い。

問8. これからの公立幼稚園にやってほしいこと

① 園庭、園舎の開放	21.0%
② 専門家による教育相談や指導	20.7%
③ 未就園児の親子登園日の設定	17.0%
④ 子育て相談	15.8%
⑤ 保護者の交流の場の提供	11.7%
⑥ 子育て講座	8.8%
⑦ その他	5.0%

園庭、園舎の開放が21%で、問6の「遊び友達や遊び場がないので預けたい」という理由と合わせて考えると幼児が友だちとかかわりながら安心して遊べる場所が少なくなっていることが伺える。また、専門家による教育相談や指導が20.7%、子育て相談が15.8%で、子育てについて相談できる人を求めている。

2. 教育課程について

幼稚園は幼児期における教育の場、就学前教育の場として重視されている。それは、人間形成の基礎となる「生きる力」・豊かな心情、意欲、態度が育まれるからである。幼児にとってふさわしい環境にするには、教師が一人一人幼児と信頼関係を築き、発達の課題に応じた環境を工夫し、整えていくことで諸側面の発達を促していくことである。2年保育の教育課程編成をするにあたって、幼稚園教育要領の理解に努め、研究課題である「2年保育における教育課程の編成」に努める。

(1) 幼稚園教育の目的

学校教育法第77条において「幼稚園は、幼児を保育し適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする」とある。

(2) 幼稚園教育の目標

幼児期における教育は、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培うために大切なものであり、幼稚園は幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成するよう学校教育法第78条に規定する幼稚園教育の目標の達成に努めることである。

- ① 健康、安全で幸福な生活のための基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培うようにする。
- ② 人への愛情や信頼感を育て、自立と協同の態度及び道徳性の芽生えを培うようにする。
- ③ 自然などの身近な事象への興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培うようにする。
- ④ 日常生活の中で言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり聞いたりする態度や言葉に対する感覚を養うようにする。
- ⑤ 多様な体験を通じて豊かな感性を育て、創造性を豊かにするようにする。

(3) 幼稚園教育の基本

幼稚園教育は、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とし、重視する事項が次のように述べられている。

- ① 幼児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする。
- ② 遊びを通しての指導を中心として、ねらいが総合的に達成されるようにする。
- ③ 幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにする。

(4) 教育課程の編成

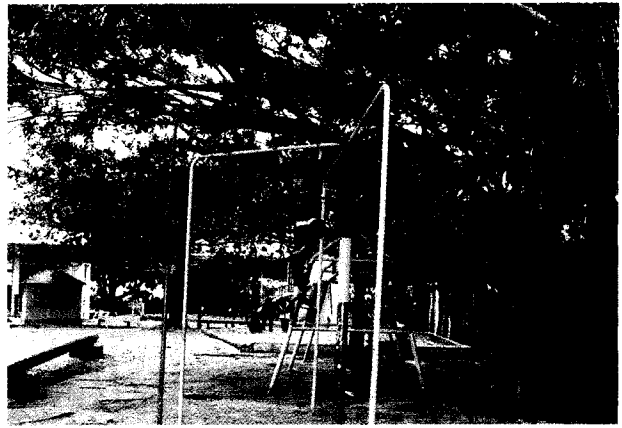
※ 教育課程はそれぞれの幼稚園において、全教職員の協力の下に園長の責任において編成するものである。

① 教育課程の意義

教育課程は、幼稚園における教育課程の全体を見通したものであり、幼稚園教育の目的、目標に向かってどのような道筋をたどって教育を進めていくかを明らかにした全体計画である。各幼稚園は特色を生かし、幼稚園教育要領を基にして、創意ある教育課程を編成することが大切である。

② 教育期間や幼児の生活経験及び発達の過程などを考慮して具体的なねらいと内容を組織しなければならない。この場合においては、幼児期の発達の特性を踏まえ、長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮する。

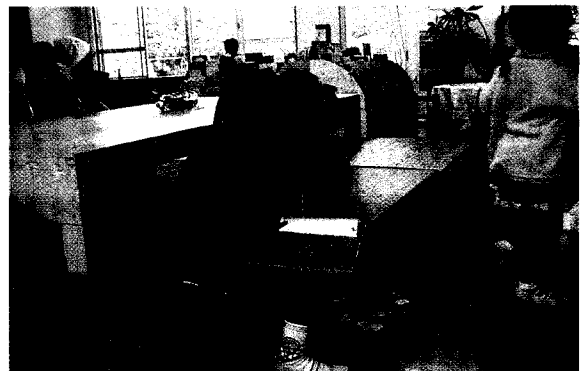
③ 幼稚園において教育課程を編成し、これを実施するに当たっては毎学年の教育週数は、特別の事情のある場合を除き、39週を下ってはならないこと、また、教育時間は1日4時間を標準とする。



スゴイ！
「ぼく こんなに たかいんだぞ」



「土にうめると めがでるよ」
種とりを楽しんでる

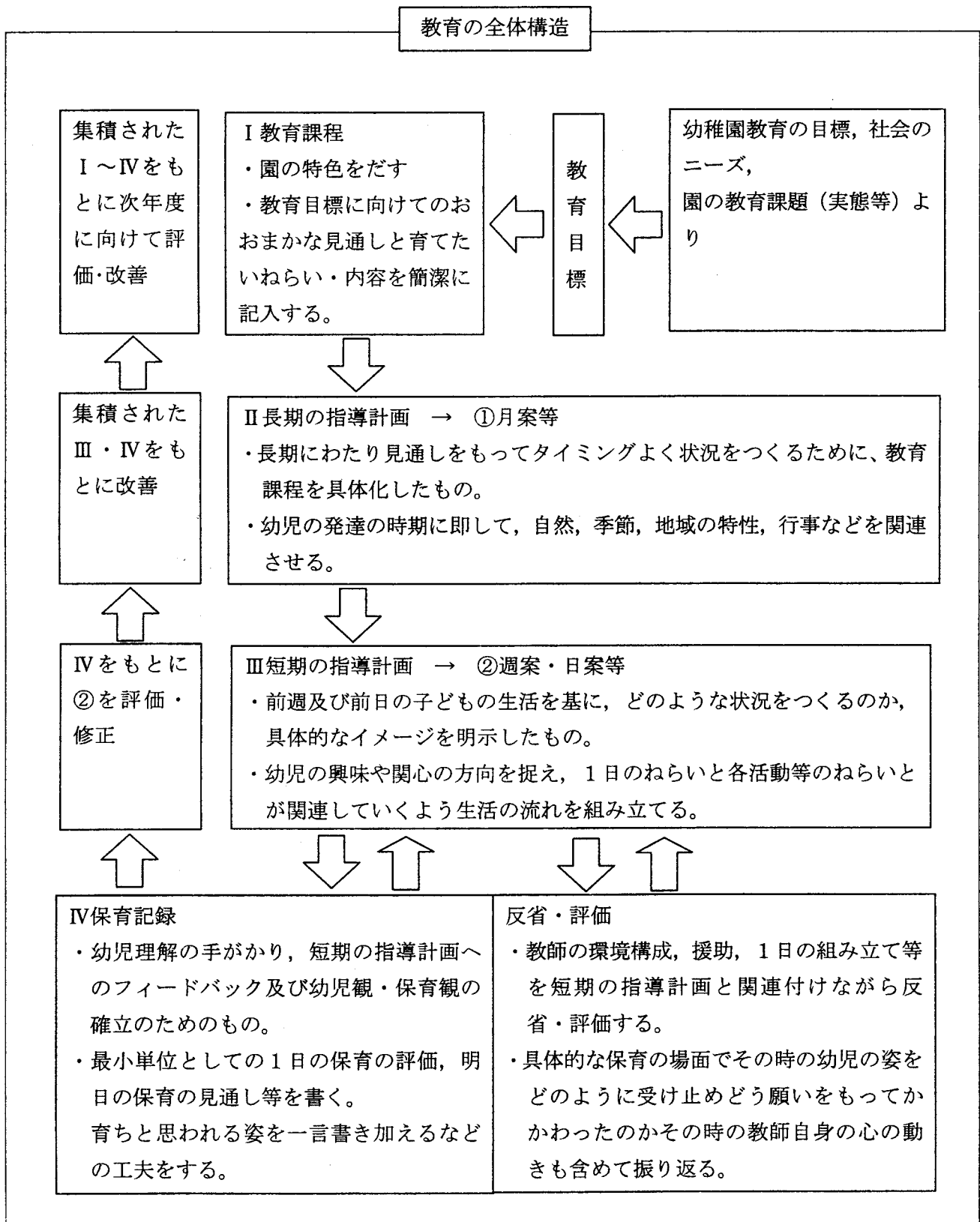


「絵本 だいすき！」

3. 指導計画の作成

(1) 指導計画の作成にあたって

- ① 教育課程、指導計画、実際の保育、評価等の相互関係をよく理解する



「新幼稚園教育要領の解説」小川博久、森上史朗、小田豊、神長美津子編著 1999。

② 幼児の発達への理解を深めること

幼児は様々な要因が複雑に絡まり合いながら発達していくので、発達の姿は捉えにくいですが、幼稚園生活の中で、その時期において頻繁に見られる共通する幼児の姿や、以前と比べて変化してきた全体の様相をてがかりに、おおむね次の観点から幼児の総合的な発達の実状を捉えるようにする。

ア. 幼児をとりまく環境へのかかわり方

イ. 教師や友達とのかかわり方

ウ. 生活の中での自立の構え

エ. 心や体の発達の状況

オ. ものの見方、感じ方、捉え方の特徴

カ. ことばの発達の状況

キ. 基本的な生活習慣が身についていく状況

ク. 家庭生活、地域等の実態

③ 具体的なねらいと内容の設定

※ ねらい → 幼児に育てたい心情、意欲、態度であり、幼児が主体的に生活を展開するなかで発達していく方向性を示すものである。

※ 内容 → ねらいが達成されるように、具体的な活動を通して教師が指導し、幼児が身につけていくことが望まれるものである。どのような経験を積み重ねていくことが必要なのか幼児の生活に沿って考える。

④ 環境の構成

幼児が周囲の環境に意欲的にかかわり、主体的に展開する活動を通して、望ましい発達をとげていくよう促す環境の構成を考える。

ア. 発達の時期に即した環境

発達の時期によって、環境へのかかわり方、受け止め方に特徴があるので、具体的なねらいや内容に基づいた環境を構成する際には、どのようにしたらよいか十分に考える。

イ. 興味や欲求に応じた環境

幼児が興味をもち、どんなことをしたいのか感じ取り、それを手がかりに環境の構成を考えるが、表面的なものだけではなく、今、どのような経験をするのが発達を促すのに大切なのか併せて考える。幼児は、葛藤や挫折などの体験をし、達

成感や満足感を味わったりすることが発達を促す上で大切である。自分の力で乗り越えられるような困難も環境構成の中に含める必要がある。

ウ. 生活の流れに応じた環境

* 幼児の興味や意識の流れを大切にし、自然な幼稚園生活の流れをつくり出していく。

* 幼児が様々な自然環境に触れることができるようにする。

* 意図性と愚発性、緊張と解放、動と静、室内と屋外、個と集団などバランスのとれた自然な生活の流れをつくり出す。

⑤ 指導計画は常に改善していくこと

指導計画は、仮説であり、実際の保育を通して常に修正、改善されていくべきである。その為には、日々の保育記録が重要となる。保育記録をつけるに当たっては、保育を丁寧振り返り、評価、反省する。そのことが指導計画の充実や確かな保育観、幼児観の確立につながる。指導計画の改善、充実に当たっては、多面的な幼児理解や柔軟な読みとりによる多様な活動の予想を可能にするため、教師間の連携による相互研修が大切になる。

⑥ 園行事の精選

幼児の発達や幼稚園生活の流れから見て、それぞれの行事のもつ教育的意義を十分検討し、長期的な見通しの中で適切なものを精選していく。行事が終わった後の幼児の園生活を見通す。

4. 幼児期の発達について

幼稚園は意図的な教育を目的とした学校である。幼児期の教育は、幼稚園教育の基本に基づいて幼児のさながらの生活を大事にして、幼児の生活や遊びの展開に沿って、発達に必要な経験を積み重ねていくことを大切にしている。したがって、教育課程の編成の考え方は、教科を持つ小学校以上の学校教育とは異なり、幼稚園生活の全体を通して、幼稚園教育要領に示すねらいが総合的に達成されるよう、教育期間や幼児の生活経験、発達の過程などを考慮して、具体的なねらいと内容を組織していかなければならない。特に、自我が芽生え、他者の存在を意識し、自己を抑制しようと

する気持ちが生まれる幼児期の発達の特徴を踏まえ、きめ細かな対応が図れるようにする必要がある。自我とは、自分で自分自身のことを理解し、周囲の人々との関係の中でも自分の本当の気持ちを見失わずに、自分らしく生きていく精神的な力で、幼児期は自分への意識の基礎が培われる。

ちなみに、精神分析学者で臨床医のE. H. エリクソンは、自我の発達という側面から人間のライフサイクルを八つの段階に分け、各段階で乗り越えなければならない心理・社会的危機があり、それを乗り越えるところに、人間の発達があるとしている。このことから、幼児期における「自我の形成」は重要であると考えられる。

(1) 発達の理解

人は生まれながらにして、自ら周囲の環境に働きかけて、生活に必要な能力や態度を獲得していく力をもっている。その獲得していく過程を発達ととらえる。一般に「発達」を理解するというと、4歳、5歳などそれぞれの年齢段階の発達基準や発達段階を理解するというものだけに受け止められてしまうが、これらは個々の幼児の異なった発達を平均化したものであり、一人一人の発達を理解する際の手掛かりにはなるが一人一人の幼児に当てはまるものとは限らない。幼児の発達は、遊びを中心とした生活の中で、自発的、能動的に環境とかかわりながら心身の諸側面が相互に関連し合うことにより発達していくもので、それぞれの幼稚園の実態や教師のかかわり方、家庭での生活などによって、発達する姿は異なったものとなる。

また、幼児の発達は連続的であるが、時には、停滞しているように見えたり、あるときは、飛躍的に進んだりする。このような発達の過程は時期を逃すと身につけにくくなることもあり、どの時期に、何を、どのような方法で、身につけていくか、長期的な見通しにたった適時性を考えることは幼児の望ましい発達を促す上で大切である。

(2) 発達を促すもの

① 能動性の発揮

幼児は、興味や関心をもったものに対し自分から関わろうとするので、能動性が十分に発揮される対象や時間、場などを用意する必要がある。その時に幼児の行動や心の動きを受け止め、認め、励ます大人の存在が大切である。また、幼児が積極的にかかわるようになるには、周囲の大人と信頼関係が築かれ心が安定していなければならない。

② 発達に応じた環境からの刺激

幼児は、環境との相互作用によって発達に必要な経験を積み重ねていくので、幼児期の発達は生活している環境の影響を大きく受ける。したがって、発達を促すためには、活動の展開によって柔軟に変化し、必要な刺激が得られるような応答性のある環境が必要である。

(3) 幼児期の発達の特性

① 身体や運動機能が急速に発達する時期であり、身体を動かすことを喜ぶ。また、好奇心にあふれた時期で、次々にさまざまなことに興味をもって全身で取り組み活動性の高まりが見られる。このことは他の諸側面の発達も促すので重視する必要がある。

② 周囲の大人に認められ受け入れられているという安定感に支えられて、自己を発揮し自立に向かう時期である。教師との信頼関係を十分に築くことが大切な時期といえる。幼児期において依存と自立の関係を十分に体験することは、将来にわたって人とかかわり、充実した生活を営むために大切なことである。

③ 自分自身の生活経験を手がかりにして、さまざまなイメージを形成し、それによって物事を受け止め理解したり考えたりする時期である。また、違ったイメージをもった友達同士が一緒に遊ぶ中で、徐々に他の幼児との受け止め方の違いに気づいたり、それを自分のものと交流させたりしながら、次第に一緒に活動を展開できるようになっていく。

- ④ 信頼や憧れをもっている人の言動や態度を模倣したり、自分の行動に取り入れたりすることが多い時期である。このような同一化は、幼児の人格的な発達、生活習慣や態度の形成に大きな影響をもつものである。初めは保護者や教師などの大人が多いが、生活が広がるにつれて友達や物語の主人公に広がっていく。
- ⑤ 環境と能動的にかかわることを通して、周りの物事に対処し、人と交渉する際の基本的な枠組みとなる事柄についての概念を形成する時期である。例えば、命あるものとそうでないものの区別、人と他の動物の区別、心の内面と表情など外側に表れたものの区別などを理解する。
- ⑥ 他者とのかかわり合いの中で、さまざまな葛藤やつまずきを体験することを通して、将来の善悪の判断につながる、やってよいことと悪いことの基本的な区別ができるようになる時期である。大人の諾否によって、受け入れられる行動と望ましくない行動を理解するようになる。日常生活の中で、教師や保護者が適切なかわりをするすることにより、道徳性の芽生えも培われていく。

(4) 4歳児の発達の特徴

- ① 思いきり心と体を動かして遊ぶことで、さまざまなことに気づき身につけていく。
- ② 友達関係が広がり、いっしょに遊ぶことを楽しむようになる。
- ③ 生活の決まりや遊びのルールなどが必要であることに気づき、自分たちで作りに出したり守ったりしようとする。
- ④ 遊びの中で遊具や用具を楽しみながら扱い、徐々に安全な使い方をしようとするようになる。
- ⑤ 友達の遊び方などから、興味のあることを自分の遊びに取り入れることが盛んになる。

(5) 5歳児の発達の特徴

- ① 年長組になった喜びから、子どもたちは、心身ともに力に満ちあふれ、あれもしたい、これもしたいという欲求を持っている。自分なりに考えて、物事の判断ができるようになる。
- ② 自分や仲間の意見を大切にし、仲間意識が芽生え、同じ目的に向かって活動するようになり、集団やグループの活動の中で役割の分担をし、決まりを守ることの必要性、責任感を身につけ、仲間の一員としての自覚や自信を持って行動する。
- ③ 運動機能がますます伸び、快活に跳び回り身体を動かすことを喜ぶ。また、好奇心が旺盛でいろいろなものに興味をもって、全身で取り組む活動の高まりが見られる。
- ④ 生活経験が広がると同時に、身の回りの自然の事象や物事に対する興味や関心も深まり、いろいろな表現能力を身につけていく。自分自身の生活経験を手がかりにして、さまざまなイメージを形成し、それによって物事を受け止め理解したり、考えたりする時期でもある。

5. 異年齢との育ち合い

園生活において異年齢とのかかわり合いは、同年齢同士にはみられない育ち合いがある。少子化で子どもの数の少なくなった今日、兄弟関係に近いものを体験する機会にもなる。それから、保育形態として、園全体で行う場合、4歳児・5歳児のみで行う場合、生活遊び全体で行う場合、部分的に行う場合、年間を通して行う場合、行事など一定期間行う場合など様々ある中で、年齢別の組編成では経験することのできない子ども同士のかかわりがある。それは、長年にわたって2年保育を実践してきた北中城幼稚園の実践から見て取ることができる。その中から2年保育で育つ4歳児・5歳児の特徴として以下のような育ち合いがみられた。

(1) 4歳児にとっての育ち

- * 5歳児のダイナミックな活動を見ることにより、その活動の楽しさや展開の仕方を知ることができる。
- * どのようなやり方をすれば、どのくらい楽しそうなのかを見ながら知っていく。
- * 場や道具の使い方を見て学んでいくことができる。その活動をするためには、どのような広さが適しているのか、また、どんな道具や材料が必要なのかをみていて、具体的に理解していく。
- * 「今はまだ上手にはできないけれど、きっと年長児になったら自分もあのようにできるようになるぞ・・・」という成長の目標が持てるようになる。

(2) 5歳児にとっての育ち

- * 4歳児にみてもらうことにより、活動が高まり年長として自立に向かっていく。
- * 自分に対する自信がついてくる。
- * 4歳児にみてもらい喜ばれたりすることにより表現力が豊かになる。
- * 教えたり伝えたりすることが豊かになる。

以上の結果（研究報告）から、発達段階の違う異年齢の交流によって、遊びや生活の仕方が伝承され意欲的に活動するようになり、自然体で思いやりの心が育っていつているのが分かる。2年保育の長期的な見通しがあることで、幼稚園生活がより充実していくことが確認できた。そこで、実効ある2年保育をしていくために教師は、日々の保育の情報を交換し合い、多面的な見方で幼児一人一人の理解に努めることが大切になってくると考える。教師の役割を分担したり、幼児とのかかわりを共有化してコミュニケーションの充実を図ることが大切である。また、園外保育などで4歳児や5歳児と一緒に手をつないで出かけたリ、「ごっこ遊び」に招待するなど、異年齢のかかわりを教師が意図的に子ども達に意識づけることも必要になってくる。

6. 教師の役割

環境を通して行う幼稚園教育において、物的環境と人的環境がある中で、人的環境は担任の教師だけではなく幼児の周りの教師や友達すべてが環境である。教師は、幼児との信頼関係を十分に築き、幼児とともによりよい教育環境を創造していくことが求められる。そのために教師はさまざまな役割を担う。

(1) 活動の理解者としての役割

- * 現に取り組んでいる活動は、どのように展開してきたか、時間的な流れの理解をすること。
- * 空間の広がり：幼児がどこで誰と何をして遊んでいるか、動きの捉えを理解すること。

(2) 共同作業・幼児と共鳴する者としての役割

- * 幼児と同じ目線に立ってものを見たり、行動したりすることによって、心の動きや行動を理解すること。その時々々の幼児の心情、喜びや楽しさ、悲しみ、怒りなどに共感しこたえることにより、幼児は教師を信頼し、心を開くようになる。
- * 教師と一緒にできる楽しさから活動への集中を生み出していく。

(3) 憧れを形成するモデルとしての役割

- * 幼児は教師の日々の言葉や行動する姿をモデルとして多くのことを学んでいく。
- * 善悪の判断、いたわりや思いやりなど道徳性を培う上でも、教師は一つのモデルとしての大きな役割を担う。

(4) 幼児の遊びの援助者としての役割

- * 一人一人の発達に応じたタイミングを得た援助をすることにより自立心を養い、ひいては幼児の「生きる力」を育てていくことにもなる。実際に教師がかかわる場面では、これらの役割が相互に関連するものであり、状況に応じた柔軟な対応をすることが大切である。そのためには、教師は複眼的な視点から幼児の姿を捉えることが必要である。

VI 保育実践

1. 検証保育（宜野湾市立志真志幼稚園）

(1) 検証保育までの取り組み

2ヵ年保育の検証をするにあたって、校区内の保育所で一学期に交流をしたことのある保育所の4歳児との交流保育を計画した。また、保育所内でも「異年齢児との交流で育つ保育」をテーマに研修していることもあり、交流保育に快く応じてくれた。当日までの間、保育所の4歳児にとっては、“自分たちも幼稚園に行くことができる”という嬉しさからその日を待ち望んでいたようである。また、幼稚園の5歳児も「やった～」と喜び、教師が「雨が降るかもしれないよ」というと「てるてる坊主を作ればいいさ～」、「優しくしないとだめだよな～」などの声が聞かれた。

(2) 事前の交流の様子（1月17日）

9時40分には35人の園児が、弁当を背にしてやってきた。園庭で挨拶を交わす子、室内で挨拶をしよう子、先生方もそれぞれの居場所で挨拶をしよう。子ども達は持ち物を処定の場所から遊ぶことにする。子どもたちと話し合いが持たれてないためであろう。「ここであそんでいい」「外にいったあそんでいい」等の声がきかれた。保育士から離れられず不安そうにしている子もいるが、多くの園児が室内外のそれぞれの好きな場所で遊び楽しんでいる。幼稚園児のリードで滑り台や鉄棒で遊んでいる子どもたちから、「団地のこうえんでもあそんでいるよ」、「保育園でもいっしょに遊んだよ」という声が聞かれた。ドミノ遊びをしている幼稚園児の仲間を傍観していた4歳・保育園児（M君）が、しばらくして、ドミノを1個ずつ手渡している姿が見られた。M君が手渡す1個1個を受け取り、そうっと並べている5歳児（Y君）。その二人に会話はないが、心の通い合いを感じる思いがした。その後の弁当会で、M君とY君が隣り合わせに座り楽しげに弁当を食べているのが印象に残った。降園時に保育園児からは「まだ、どもだちできてない」「ブランコにのってない」「あしたもくる」等のつぶやきが聞

かれたので、保育士に「明日も遊びにきてくれますか」とたずねたら、4歳児（保育園児）は、「きたい！きたい！」と言う。保育士は「明日はね～ムーチャーづくりだから・・・」と困っている。すると、それを聞いた5歳児（F君）が、「じゃあ いっしょに つくればいいさ～」と一日だけの交流ではものたりない様子である。F君の発想のままムーチャーづくりに発展させていきたい思いがした。



4歳児が手渡すドミノを
一心に並べる5歳児



「また ようちえんに
きたい！きたい！」

幼児の姿		ねらい	内容	志真幼稚園
<p>・かるた遊びや年賀状づくりを通して、文字や数量に関心を持って遊ぶ姿が見られる</p> <p>・こま回し、縄跳び、フラフープ等ができるようになったことを得意げに友達や教師に話したり、喜んだりしあっている。</p> <p>・気の合う友達同士で、サッカーごっこをしたり、鬼ごっこなどをして遊んでいる。友達関係が広がっている。</p>		<p>・保育園児とかかわって遊びを進める(5歳児)</p> <p>・幼稚園や幼稚園児に親しみ好きな遊びをする(4歳児)</p> <p>・遊んだこと、感じたことなどを自分なりのことばで話す。</p>	<p>・親しみを持ってあいさつをする。</p> <p>・友達や4歳児の子と遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>・かいたりつくったりすることを楽しみ、遊んだり、飾ったりする。</p> <p>・友達と一緒にパ・スリ-を楽しんでみる。</p>	<p>志真幼稚園 66名</p> <p>幼稚園児 (男16名)(女17名)</p> <p>さくらくみ (男16名)(女17名)</p> <p>ひまわりくみ (男16名)(女17名)</p> <p>宜野湾保育所 37名</p> <p>保育園児 (女17名)(男20名)</p> <p>きりんくみ</p>
<p>予想される活動</p>		<p>★環境構成 ☆援助配慮</p>		
8:30	<p>登園</p> <p>・挨拶をする</p> <p>・所持品の始末</p> <p>草花や飼育物の世話をす</p> <p>る</p> <p>すきな遊びをする</p> <p>保育園児と一緒に遊ぶ</p> <p>片付け</p> <p>・手洗い、うがい</p> <p>・プレイルームに集まる(さくら・4歳児)</p> <p>・話し合いをする</p> <p>・タペストリー</p> <p>「桃太郎」を見る</p> <p>・おやつへの準備をする</p> <p>保育園児降園</p> <p>園児降園</p>	<p>★遊具の置き場所を教えたり、合ったりして4歳児5歳児・保育者がいっしょになって遊ぶようにする</p> <p>★いろんな遊び挑戦する気持ちを育てる。</p>	<p>視座</p> <p>・挨拶が言えるかな</p> <p>・好きな遊びに取り組めるかな (同年齢どうし)</p> <p>・「貸して」「させて」「入れて」など遊びに必要な言葉がいえるといいね</p> <p>・お友達のやさしさや思いやりに気づく</p> <p>・おともだちといっしょに片付けができるかな</p> <p>・思ったこと、感じたことをお話しできるかな</p>	<p>戸外でからだを動かして遊ぼう</p> <p>竹馬・フラフープ・縄跳び・鬼ごっこ</p> <p>固定遊具など</p> <p>★遊ぶ道具の置き場所を教えたり、合ったりして4歳児5歳児・保育者がいっしょになって遊ぶようにする</p> <p>★いろんな遊び挑戦する気持ちを育てる。</p>
10:20	<p>何をして遊ぼうかな</p> <p>かるたとり・かるたづくり・えかき</p> <p>まごと・こま回しなど</p> <p>★友達同士、または4歳児をさそいあって遊ぶように配慮したり、教師もいっしょになって遊ぶ</p> <p>★4歳児が遊びに取り組みやすいように素材や教材を準備する</p> <p>☆こま回しがまだできない子には、紐の巻き方やまわし方を教えていきながら徐々にまわせるように援助していく。</p>	<p>★遊ぶ道具の置き場所を教えたり、合ったりして4歳児5歳児・保育者がいっしょになって遊ぶようにする</p> <p>★いろんな遊び挑戦する気持ちを育てる。</p>	<p>おはなし しよう</p> <p>★4歳児と5歳児がいっしょに遊んだことをどのようにに思ったり感じたりしているか、話し合う場を持つようにする</p> <p>☆お友達の話しを注目して聞くように声をかけする</p> <p>☆またいっしょにあそぶ機会がもてるように期待をもたせ和やかな雰囲気です。</p>	<p>・思ったこと、感じたことをお話しできるかな</p>
11:00	<p>「桃太郎」を見る</p>			
11:30	<p>おやつへの準備をする</p>			
12:00	<p>保育園児降園</p> <p>園児降園</p>			
<p>☆教師は挨拶をしながら個々の子どもの視線をする。</p> <p>☆保育園児を迎え挨拶をする</p> <p>☆教師は、身近にいる在園児に保育園児がきたことを知らせる。</p>				

(4) 当日の様子

ぽかぽか陽気で、幼稚園児が庭に出て遊んでいるところへ保育園児が到着した。初日とは違い脱いだ上着を手際よく処定の場所に片付けると、自らそれぞれのコーナーに行き遊び始めた。保育士から離れて遊ぶ子が多く、側にいた子も遊びを見つけてからは、笑顔でかかわりあっている。幼稚園児の中に保育園児の名前を覚えている子がいて、「〇〇ちゃんはきている」「〇〇ちゃんはどこにいるの」と保育士に尋ねていたようである。こま回し大会を2日後に控えて、こま回しが盛んに取り組まれている中、回し方を教えたり教えてもらったりしている姿が見られた。裏庭では、虫めがねでんとう虫の観察をしている子がいて、表(背)の部分だけを見ている4歳児に「裏もみたら・・・」と5歳児が声をかけていたが、4歳児は裏の方には関心がなく、表の方だけに見入っていた。遊びの中で、そのような5歳児からの働きかけがためこみとなって育っていくのであろう。

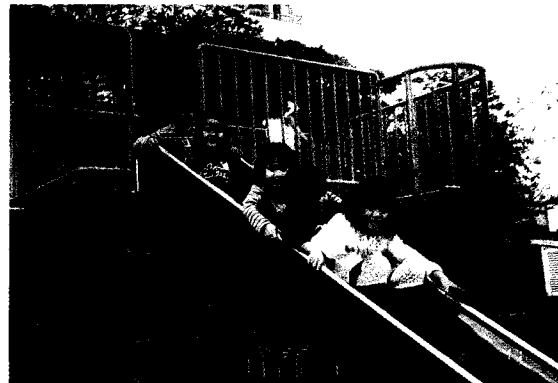
(5) 検証保育の反省

1日の保育の流れ・ねらいの捉え方、子どものつぶやきをいかに受け止めて、明日の保育に生かし活動につなげていくかを考えていきたい。かかわりを持って遊んでいる子の中に、近隣の子、いとこ同士、保育園で生活を共にした子など地域性が見られた。交流後、家庭に帰ってから「5歳になったら幼稚園に行きたい」と言う子がいた。「家庭の事情でそうもできない」と保護者からの便りがあったとのことでした。また、5歳児から「最初きたときより元気だったからよかったね」との思いを聞いて、子ども達にとって貴重な経験となったことが分かる。年齢の異なる幼児間のかかわりは、年上のものへの憧れを生み、それを自分のものにしようとする意欲も生む。幼稚園で年齢の異なる幼児と一緒に生活できる環境を作っていきたい。これからも幼児期における子ども達の豊かな育ち合いをめざして、幼稚園で年齢の異なる幼児と一緒に生活できる環境や、保育園児との交流、その他も計画し実践していきたい。

(6) 検証保育の指導助言(金城恵子先生)

講師の金城恵子先生から次のような指導助言をいただいた。

- 2年保育も3年保育も、2回ないし3回、繰り返して訪れる季節の中で、前年の経験を思い出しながら、自分たちの遊びの中に自然物を取り入れてより遊びを楽しくしていくことの経験を積むことができる。
- 検証保育(4歳児と5歳児の交流)を実施するにあたって、検証をする内容についての吟味が不十分であり、ねらいの把握についても曖昧さを感じた。
- 今回の交流では、迎える側として、5歳児この時期ならではの思考を促し、子ども達と話し合い、考えたりしていく中から、迎える活動を編み出していくいい機会であったと思う。



おともだちになって よかったね
保育園児といっしょに



トンネルをくぐって帰る保育園児
「ほく いちばん」

2. 検証保育（北中城村立北中城幼稚園）

(1) ねらい

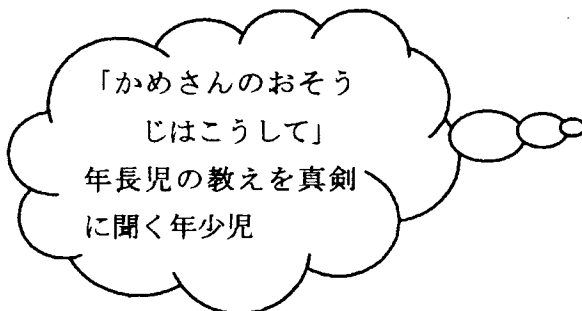
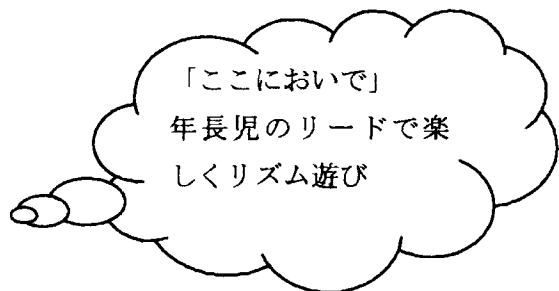
- ① 年少児と年長児の関わりを見る。
- ② 4歳児の発達を理解する。

(2) 方法

- ① 宜野湾市立の幼稚園では、4歳児の保育はまだ実施されていないので、北中城村立北中城幼稚園で検証保育を行う。
- ② 検証保育の指導案は、北中城幼稚園の指導計画を参考に作成した。

(3) 計画

日 程	取り組み	内 容
1月23日（水）	事前調整	実施園と話し合い（日程調整，学級決定）
2月 1日（土）	事前取組	年少3学級見学
2月 4日（月）	事前取組	うさぎ組 見学及び一部援助 園児の様子をとらえる
2月 5日（火）	事前取組	りす組 見学及び一部援助 園生活の流れをとらえる
2月 6日（水）	事前取組	あひる組 見学及び一部援助 遊びの様子をとらえる
2月 7日（木）	事前取組	あひる組一部保育参加 選択した教材への反応をみる
2月 8日（金）	保育実践	理論研究でとらえた4歳児の発達と4歳児との生活の中で捉えた姿を念頭に指導案を作成し、保育を実践する
2月 8日（金）	反省まとめ	実践の結果と考察



平成14年2月8日(金曜日)		北中城村立北中城幼稚園 あひる組(4歳児)		在籍 男児18名 女児13名 計31名	
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> 園生活の流れがわかり身のまわりのことは、ほとんどできているようになる。 自分の得意とするものを認めてもらいたいという思いが強く感じられ、友達と競う姿が見られる。 天気の良い日は戸外で思いっきり体を動かして遊んでいる。 2~3人の友達でヒーローごっこをしている姿も見られる。 友達が泣いたりすると「だいじょうぶ」と、気遣っている。 子ウサギに関心があり動物小屋をよくのぞいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの目的をもって、挑戦したり試したりして遊ぶようになる。 友だちと共通のイメージをもって遊ぶ中で、言葉の刺激を受けて、自分の思いも伝えられるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの目的をもって試したり、挑戦したりしてできたという喜びを味わう。 進んで戸外に出て、十分に体を動かす。 友だちの言葉や動きに気持ちを持って遊ぶ。 自分のしたこと、見たこと、感じたことを、教師や友だちに話すことを楽しむ。 友だちと一緒にパネルシアターを見ながら、想像する楽しさを味わう。 		
時間	一日の流れ	予想される幼児の姿	☆環境構成、教師の配慮、援助	検証の視点	
8:00	登園 <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする 所持品の始末 植物へのみずやり 朝の清掃 好きな遊びをする <ul style="list-style-type: none"> 戸外あそび 	<ul style="list-style-type: none"> ☆笑顔で挨拶を交わし、温かく迎えながら、視診をする。 ☆かばんの片付け、お便り帳のシール貼りを忘れている子には、声かけをして促す。 ☆名札を付け替えている子のようすを見守る。 ☆清掃が上手なことやきれいになると気持ち良いことを伝える。 ☆園庭のモモタマナの葉は「木の葉ひろい競争」で楽しく拾う。 ○固定遊具、スケーター、綱跳び、おにごっこ ☆教師間で連絡をとり、安全面に気をつける。 ☆それぞれの遊びがぶつからないように場を設定する。 ☆安全な遊具の使い方を気づかせていく。 ☆遊具や用具の安全を確かめ、幼児が出入れしやすいうちしておく。 ☆一人一人の遊んでいる様子や取り組んでいる姿を見守り、共感したり、励ましたりする。 ☆遊びが楽しくなるように、教師も子どもと一緒に遊ぶようにしていく。 ○チラシで剣作り、紙芝居づくり、空き箱の製作、ブロックでいろいろな物を作る。 ☆材料や用具を十分用意し、取り出しやすい場所に置く。 ☆作ったものを認め、みんなに紹介する。 ☆使った遊具や用具は、自分たちで片付けられるよう見守りながら、援助していく。 ☆手洗いやうがいをして促す。☆衣服が汚れていたら着替えを促す。 	登園時の様子はどうかな <ul style="list-style-type: none"> 挨拶 ・身のまわりの始末 ・身じたく 園生活の流れの理解 戸外での遊びの様子はどうかな <ul style="list-style-type: none"> 目標があって挑戦している。 自分の考えを出しながら遊んでいる。 自分のできることを楽しんでいる。 室内での遊びの様子はどうかな <ul style="list-style-type: none"> 共通のイメージをもっている 試したり工夫したりしている 片づけのようすは 清潔にしようという生活態度は 自分の思いをお話できるかな 友だちの話を聞くことができるかな イメージしながらパネルシアターを楽しんでいるかな 当番の役割を意識して仕事を進めているかな 帰りの支度がちゃんとできるかな <ul style="list-style-type: none"> 約束を守って、バスを待てるかな 		
10:00	片付け <ul style="list-style-type: none"> 遊具、用具の片付け 手洗、うがい、着替 集まり	<ul style="list-style-type: none"> ○歌や手遊びなどをしながらみんな集まってくる。 ☆どんな遊びをしたか、話し合ってから明日の活動につなげていけるようにする。 ☆子どもたちとやりとりしながら楽しく進めていく。 ☆当番活動していることを認め最後まで頑張れるように声をかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌や手遊びなどをしながらみんな集まってくる。 ☆どんな遊びをしたか、話し合ってから明日の活動につなげていけるようにする。 ☆子どもたちとやりとりしながら楽しく進めていく。 ☆当番活動していることを認め最後まで頑張れるように声をかけていく。 		
10:20	集まり <ul style="list-style-type: none"> 今日の活動を振り返る パネルシアターを見る 	<ul style="list-style-type: none"> ☆歌や手遊びなどをしながらみんな集まってくる。 ☆どんな遊びをしたか、話し合ってから明日の活動につなげていけるようにする。 ☆子どもたちとやりとりしながら楽しく進めていく。 ☆当番活動していることを認め最後まで頑張れるように声をかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌や手遊びなどをしながらみんな集まってくる。 ☆どんな遊びをしたか、話し合ってから明日の活動につなげていけるようにする。 ☆子どもたちとやりとりしながら楽しく進めていく。 ☆当番活動していることを認め最後まで頑張れるように声をかけていく。 		
11:00	牛乳の準備 <ul style="list-style-type: none"> 当番さんが準備をする 挨拶をしていただく 挨拶をして片付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ☆歌や手遊びなどをしながらみんな集まってくる。 ☆どんな遊びをしたか、話し合ってから明日の活動につなげていけるようにする。 ☆子どもたちとやりとりしながら楽しく進めていく。 ☆当番活動していることを認め最後まで頑張れるように声をかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌や手遊びなどをしながらみんな集まってくる。 ☆どんな遊びをしたか、話し合ってから明日の活動につなげていけるようにする。 ☆子どもたちとやりとりしながら楽しく進めていく。 ☆当番活動していることを認め最後まで頑張れるように声をかけていく。 		
11:30	降園の準備 <ul style="list-style-type: none"> 制服に着替える 所持品を机の上に置く お便り帳を返す 手遊びをする 	<ul style="list-style-type: none"> ☆歌や手遊びなどをしながらみんな集まってくる。 ☆どんな遊びをしたか、話し合ってから明日の活動につなげていけるようにする。 ☆子どもたちとやりとりしながら楽しく進めていく。 ☆当番活動していることを認め最後まで頑張れるように声をかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌や手遊びなどをしながらみんな集まってくる。 ☆どんな遊びをしたか、話し合ってから明日の活動につなげていけるようにする。 ☆子どもたちとやりとりしながら楽しく進めていく。 ☆当番活動していることを認め最後まで頑張れるように声をかけていく。 		
12:00	降園 <ul style="list-style-type: none"> ①コース ②コース 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ①コースは廊下で待つ。 ②コースは室内で待つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ①コースは廊下で待つ。 ②コースは室内で待つ。 		

(5) 検証保育の結果と考察

① 年少児と年長児のかかわり方

登園時	・通園バスを利用しての登園なので、各地域のバス停でいつも一緒になり友だちになった子もいる。年少児と手をつなぎながら登園し、遊びの約束をして各学級に向かう年長児の姿が見られた。
積み木の部屋で	・雨天で積み木の部屋で年長児1人と年少児10人程遊んでいた。年長児は友だちの年少児をリードしながら家を組み立てていた。近くの年少児グループは、それを見ながら模倣していた。片づけの時間が近づくと年長児が「もう、片づけよう」と、声をかけて片づけを促していた。年少児は素直に片づけを始めた。積み上げた高さが高くなると年長児は「ここまでだよ」と、印のある位置を教えていた。
絵本の読み聞かせ	・年長児二人が年少児の学級に絵本の読み聞かせにやってきた。部屋で遊んでいた年少児は遊んでいたブロック等を持ちながら集まって絵本を見ていた。
飼育小屋で	・飼育当番を年長さんが年少さんへ教えている場面で、デッキブラシをかけている年長児は、見ている年少児に「やってみる?」「やる?」と尋ね、デッキブラシを渡し「はねるからね、気をつけてね」「だいじょうぶ?」と声をかけていた。カメのところでは、「カメさんさわらないでね、かまれるよ」と注意を促していた。年少児は真剣に年長児の様子を見ている。
朝の会で	・「6人組」とかコールされると、年長児が年少児をリードして人数を集め、リズム遊びを楽しんでいた。
考察	・いろいろなところで年長児が年少児を思いやりながら優しく教えている場面が見られた。兄弟姉妹の少ない現代の家庭生活の中では、年下の子と過ごす機会が少ない子もいると思われる。幼稚園生活で、その体験ができることは重要だと思われた。また、年少児にとっては、あこがれをもって見る年長児がいることで、「あのようになりたい」と模倣したり、挑戦したりして自然に発達を促すことにつながっていると思われた。異年齢の園生活はそれぞれの年齢を意識しながら育ち合う面が多いと思われる。育ち合いを促すには、計画的な指導と教師間の連携が大切だと思った。

② 4歳児の発達を理解する

	様 子	考 察
基本的生活習慣	<p>・友だちと一緒に元気にあいさつを交わしながら登園していた。</p> <p>・園生活の流れは理解して行動している。所持品の始末、衣服の着脱や始末、ほとんどの子が自立していたが友だちとの話に夢中になり、なかなか所持品の始末ができない幼児もいた。教師や友だちの声かけで思い出したように片付けていた。</p> <p>・名札の付け替えは、まだうまくできない幼児もいたが、すぐ手助けを求めるのではなく、やり遂げようと懸命であった。</p>	<p>・園生活の流れの中で、毎日繰り返される活動なので一人一人に応じたていねいな援助や指導が大切だと思われた。</p> <p>・周りの子ができるようになると、刺激されて「自分もできるようになりたい」という気持ちが強くなるよう努力していた。刺激しあえる仲間の存在が大切だと思えた。</p>

遊びのよ うす	<ul style="list-style-type: none"> ・今週の幼児の姿から戸外活動が中心になると考え、日案を作成したが、室内で過ごす幼児が多かった。 ・昨日、読み聞かせた絵本を4～5人の幼児が、一緒に見ながら話し合っていた。 ・子うさぎが巣穴から出てきたことで関心が高まりエサを持ってきた幼児がいた。うさぎやにわとりにエサを与えながらその様子を友だちと話し合っていた。 ・縄跳びに挑戦している幼児が5～6人いた。一人の子が「何回跳べるか数えて」と言って始めると「わたしも」「ぼくも」と、競い合って跳び始めた。その中で一人の幼児は、黙々と練習していた。 ・室内で、5～6人の幼児がブロックで車づくりをしていた。相談しながら一緒に作るということはないが友だちが作っているのを見て真似たりしていた。 ・空き箱でロボットを作った幼児が教師の手を引いて「ここは、こうやって作ったんだよ」と説明してくれた。「すごい、じょうずだね」とほめるとニコッと笑った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動を中心に「戸外での遊びの様子はどうか」ということを検証の視点としたが、教師の迷いから戸外遊びに誘い出すことができなかった。しかし、幼児の活動は、次のように考察した。 ・黙々と縄跳びに挑戦している幼児を目標があって挑戦している幼児と捉えた。また、ブロックで車を作っている幼児や、ロボット作りをしている幼児を自分の考えを出しながら遊んでいると捉えた。何回跳べるか競っている幼児を自分のできることを楽しんでいる幼児と捉えた。いずれの幼児も教師に認められ励まされることにより自信をもち、次の活動に意欲的に取り組むと考えられる。4歳児は素直に教師の言葉や行動を受け止めていると見受けられるので、一人一人に応じた援助が大切だと思える。 ・友だちと一緒に絵本を見たり、子うさぎを見たりしている場面は、共通の体験がある友だちとは、共感でき共通のイメージが描きやすいので話しが通じやすいと思える。言葉で伝えることが、まだ不十分な4歳児にとって共通の体験や活動のできる環境は、友だち同士のかかわりを深めると考えられる。また、動物とのかかわりは、幼児の知的好奇心を高めていると思える。
学級での 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・片づけが済むと、自分の場所に座って話が聞ける姿勢で待っている。次は何をするんだということが身についている。 ・朝の活動の様子を話してもらったが、話をしたい幼児が多い。みんなの前に出てすぐに話せる幼児もいるが、なかなか話せない幼児には、みんなが「何をして遊びましたか？」と尋ね、掛け合いのようになるとスムーズに話げできた。 ・「カレーライス」のパネルシアターは、みんなでカレーパーティーを体験した後なのでイメージしやすかったと思える。発問するとどんどん答えていた。カレーライスを作って食べるという場面では、想像の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く態度は、日頃からの積み重ねであると考え。幼児の発達に合わせて計画的に指導することが重要だと思われる。 ・パネルシアターを見ながら、カレーライスを食べる場面では、どの子も本物のカレーがあるように想像の世界を楽しんでいた。4歳児では空想力や想像力が大きく展開することがわかった。想像力を豊かにする絵本やお話を多に読み聞かせることも大切だと思われる。

	を楽しんで何度も繰り返し食べていた。	
当番活動 において	<ul style="list-style-type: none"> ・当番の仕事内容を把握し、テーブルふき、配膳、挨拶、片づけと一連の仕事をきちんとやっていた。 ・エプロンを着用する時、当番どうして後方のボタンかけを助け合っていた。 ・当番となって活動することが誇らしげであった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割をしっかりと意識して、当番の仕事をこなしている。ふきんを洗う、絞る、テーブルをふく、牛乳を配る、片づけると細かい作業が続くので、個々の発達に合った日々の指導や援助が大切であると考え。 ・エプロン着用時は、自分だけではなく相手を思いやる4歳児の姿が見られた。いろいろな場面で友だちとかかわることによって他の幼児の存在を意識し、思いやりの心も育まれていくと思われる。 ・当番活動をすることによって、「自分は、いろいろなことができるのだ」という自信につながっていると考える。教師の認めたり励ましたりすることも重要だと思われる。
約束を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・降園時のバス待ちは、約束を守ってちゃんと待つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に関することは、教師間の共通理解の基にきちんと指導されていることが伺えた。常日頃からの安全指導が大切だと思われる。

(6) 保育者の反省点

- ① 幼児の姿から発達をとらえ、発達を促すには、何をねらいとしていくか、ねらいを達成するには、どのような内容を入れるのか、教師はそれらの見通しを立てて指導案を作成していかなければならない。ねらいのとらえが不十分なため、好きな遊びをしている時の援助や関わりに迷いがあった。
- ② 集合時のリズム遊びの足音が騒々しく、年長児に「超うるさい」と言われたが、気づかずにそのまま最後まで通した。周囲への配慮を幼児と一緒に考えるべきであった。
- ③ 4歳児は、教師に向かっていっぱい話をしたい時期である。みんなの前で話をさせようとする教師の気持ちが強かった。
- ④ 話を聞く時の座り方はいろいろあるが、固定しすぎて幼児にとっては窮屈だったのではないか。



「わたしが やってあげる」助け合う4歳児



「えさ、もってきたよ」子うさぎに関心をしめす4歳児

VII. 教育課程編成と年間指導計画
 1. 2年保育の教育課程
 (1) 4歳児の教育課程

期	I					II					III				
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3				
発達 の 姿	○教師の側にいることで安定を見出し、 そうとしていた反面、友達や新しい 生活に期待をよせている。 ○教師と一緒に行動を共にしながら生 活の仕方がわかるようになる。	○友達への関心が増え、遊び仲間 ができ、かかわりをもとめるようにな る。 ○戸外で遊具を使って遊ぶことを楽し むようになる。	○友達への関心が増え、遊び仲間 ができ、かかわりをもとめるようにな る。 ○戸外で遊具を使って遊ぶことを楽し むようになる。	○夏休み明け、友達と再会を喜び、一学期に経験した遊びを楽しんでいる。 ○年長組の遊びを意識して、自分達も真似してみようとしていたり、自分の思ったと おりに行動してよいことがわかり、自分なりの遊びを積極的に試したり、挑戦 したりする。	○いろいろな遊びを発見、挑戦 ★☆☆ 行動に意識がある ★☆☆ 遊びや友だちにひろがるがある ★☆☆ 遊びの見たてがある	○いろいろな遊びを発見、挑戦 ★☆☆ 行動に意識がある ★☆☆ 遊びや友だちにひろがるがある ★☆☆ 遊びの見たてがある	○いろいろな遊びを発見、挑戦 ★☆☆ 行動に意識がある ★☆☆ 遊びや友だちにひろがるがある ★☆☆ 遊びの見たてがある	○いろいろな遊びを発見、挑戦 ★☆☆ 行動に意識がある ★☆☆ 遊びや友だちにひろがるがある ★☆☆ 遊びの見たてがある	○いろいろな遊びを発見、挑戦 ★☆☆ 行動に意識がある ★☆☆ 遊びや友だちにひろがるがある ★☆☆ 遊びの見たてがある	○いろいろな遊びを発見、挑戦 ★☆☆ 行動に意識がある ★☆☆ 遊びや友だちにひろがるがある ★☆☆ 遊びの見たてがある	○いろいろな遊びを発見、挑戦 ★☆☆ 行動に意識がある ★☆☆ 遊びや友だちにひろがるがある ★☆☆ 遊びの見たてがある	○いろいろな遊びを発見、挑戦 ★☆☆ 行動に意識がある ★☆☆ 遊びや友だちにひろがるがある ★☆☆ 遊びの見たてがある	○いろいろな遊びを発見、挑戦 ★☆☆ 行動に意識がある ★☆☆ 遊びや友だちにひろがるがある ★☆☆ 遊びの見たてがある	○いろいろな遊びを発見、挑戦 ★☆☆ 行動に意識がある ★☆☆ 遊びや友だちにひろがるがある ★☆☆ 遊びの見たてがある	
育ち の 節 目	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	○新しい生活の始まり ★☆☆ 気の合う友達がいる ★☆☆ 誰とでも遊ぶ ★☆☆ 先生と遊ぶ	
ね ら い	○幼稚園生活に慣れ安定感をもって 遊ぶ。 ・先生や友達に親しみをもち ・好きな遊びを見つけて	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。	○好きな遊びを見つけて友達といっしょに遊ぶ。 ○動植物に関わったり、自然事象に触れたりし ながら興味関心をもち、 味わう。
内 容	○喜んで登園する ○教師や友達に元気にあいさつする。 ○自分の持ち物の始末の仕方がわかる ○水道、トイレの利用の仕方がわかる ○園の様子が変わり好きな遊具で喜ん で遊ぶ。 ○固定遊具や用具の安全な使い方を知 る。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。	○草花や動植物に親しみをもち、 ○園庭や砂場で友達といっしょにかか わって遊ぶ。 ○素材で自分なりに作ったり、考えた りして遊ぶ。 ○水遊び、砂遊びに喜んで参加する。

2年保育の教育課程
(2) 5 才児の教育課程

期 月 週	IV			V			VI				
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
発達 の 姿	○ 年長組になった喜びと自覚が感じられ、積極的に園生活を行おうとする。	○ 仲間意識が育ち、数人の中で意志統一が可能になって、自分の興味を追求したり没頭したりするようになる。	○ 仲間意識が育ち、数人の中で意志統一が可能になって、自分の興味を追求したり没頭したりするようになる。	○ 友達に対して信頼や思いやりが芽生える一方、力関係への不安定がある	○ 友達の中での信頼や思いやりが芽生える一方、力関係への不安定がある	○ 友達の中での信頼や思いやりが芽生える一方、力関係への不安定がある	○ 友達の中での信頼や思いやりが芽生える一方、力関係への不安定がある	○ 友達の中での信頼や思いやりが芽生える一方、力関係への不安定がある	○ 友達の中での信頼や思いやりが芽生える一方、力関係への不安定がある	○ 友達の中での信頼や思いやりが芽生える一方、力関係への不安定がある	○ 生活態度がしっかりしてきて4歳児への活動の引継ぎもスムーズに行えるようになり、園への愛着を感じながら園生活を充実させるようになる。
育ち の 節 目	○ 新しい仲間との暮らし	○ 一人一人の力を出し合って	○ 一人一人の力を出し合って	○ みんなの力を合わせて ★★★ いろんなことに挑戦する ★★★ 集中して遊ぶ ★ 迷いがある	○ みんなの力を合わせて ★★★ いろんなことに挑戦する ★★★ 集中して遊ぶ ★ 迷いがある	○ みんなの力を合わせて ★★★ いろんなことに挑戦する ★★★ 集中して遊ぶ ★ 迷いがある	○ みんなの力を合わせて ★★★ いろんなことに挑戦する ★★★ 集中して遊ぶ ★ 迷いがある	○ みんなの力を合わせて ★★★ いろんなことに挑戦する ★★★ 集中して遊ぶ ★ 迷いがある	○ みんなの力を合わせて ★★★ いろんなことに挑戦する ★★★ 集中して遊ぶ ★ 迷いがある	○ 幼稚園大好き (いつまでもいたいけど) ★★★ 友達の良いさを認める (受け入れる) ★★★ 集団の中で良さを生かす (自己発揮) ★ 努力して何か上手になったものがある (できる)	
ね ら い	○ 年長組として自覚を持ち、工夫して遊びに取り組む。 ○ 4歳児とのかかわりの中から、いたわりや思いやりの心を育てる。	○ 友達といっしょにいろいろな遊びに挑戦し、満足感を味わう。	○ 友達といっしょにいろいろな遊びに挑戦し、満足感を味わう。	○ グループや学級の友達と意思を合せて、力いっぱい活動することの充実感を味わう。	○ グループや学級の友達と意思を合せて、力いっぱい活動することの充実感を味わう。	○ グループや学級の友達と意思を合せて、力いっぱい活動することの充実感を味わう。	○ グループや学級の友達と意思を合せて、力いっぱい活動することの充実感を味わう。	○ グループや学級の友達と意思を合せて、力いっぱい活動することの充実感を味わう。	○ グループや学級の友達と意思を合せて、力いっぱい活動することの充実感を味わう。	○ 自分の考えや感じていっていることを出し合って、いろいろな友達とかわわって遊ぶ。 1年生になるとという自覚をもち、園生活を送る。	
内 容	○ 年長組になった自覚を持ち、年長らしい行動をとろうとする。 ○ 友達と一緒に助け合ったり、話し合ったりしながら、当番活動をする。 ○ 気の合った友達と好きな遊びに進んで取り組みながら、友達とのつながりを広める。 ○ 身近な動植物に親しむ。	○ いろいろな遊びの中で自分なりに考えたり試したり工夫し、のびのびと遊ぶ。 ○ 身近な自然の変化を教師や友達と見つけたりその感動を伝えたりする。 ○ 友達とかわわり、互いの考えを出し合ったり遊べる。 ○ 身近な自然に親しみ動植物の生長に興味や関心を持って世話する。	○ いろいろな遊びの中で自分なりに考えたり試したり工夫し、のびのびと遊ぶ。 ○ 身近な自然の変化を教師や友達と見つけたりその感動を伝えたりする。 ○ 友達とかわわり、互いの考えを出し合ったり遊べる。 ○ 身近な自然に親しみ動植物の生長に興味や関心を持って世話する。	○ 自分なりの課題や目的に向かって、工夫したり考えたりしながら積極的に取り組む。 ○ 友達とのつながりを深めて協力して遊ぶ。 ○ クラスの友達と一緒に力いっぱい活動する。	○ 自分なりの課題や目的に向かって、工夫したり考えたりしながら積極的に取り組む。 ○ 友達とのつながりを深めて協力して遊ぶ。 ○ クラスの友達と一緒に力いっぱい活動する。	○ 自分なりの課題や目的に向かって、工夫したり考えたりしながら積極的に取り組む。 ○ 友達とのつながりを深めて協力して遊ぶ。 ○ クラスの友達と一緒に力いっぱい活動する。	○ 自分なりの課題や目的に向かって、工夫したり考えたりしながら積極的に取り組む。 ○ 友達とのつながりを深めて協力して遊ぶ。 ○ クラスの友達と一緒に力いっぱい活動する。	○ 自分なりの課題や目的に向かって、工夫したり考えたりしながら積極的に取り組む。 ○ 友達とのつながりを深めて協力して遊ぶ。 ○ クラスの友達と一緒に力いっぱい活動する。	○ 友達とのつながりがのびやかで、自分なりに考えたり工夫したりして課題を達成する喜びを味わう。 ○ 遊びの中で、自分の考えを言ったり、友達の考えを受け入れたりしながら、お互いの気持ちを認め合う。		

2. 年間指導計画

(1) 4 歳児

4 月の指導計画 (4 歳児)

幼稚園の姿	ねらい	内容
<p>○期待いっぱい登園する幼児、不安や緊張から泣き出す幼児など、さまざまな姿が見られる。</p> <p>○親しみのある遊具で遊び始める幼児もいるが、周りのようすをじつとうかがったり、ひとひとつと確かめながら行動したりする幼児もいる。</p> <p>○教師の動き、言葉や表情などのひとつひとつに関心があり、かかわりを喜んでいいる反面、あちこちに興味を分散し教師の言葉が耳に入らず夢中になって動き回っている幼児もいる。</p> <p>○所持品の始末や排泄など、生活の仕方がわかり、自分でどんどんやりだす幼児もいるが、そのつと教師の援助が必要な幼児もいて個人差が大きい。</p>	<p>○新しい環境や教師、友だちに親しみ喜んで登園する。</p>	<p>○担任や保育室を知る。</p> <p>○泣かないで登園する。</p> <p>○安全な登降園をする。</p> <p>○教師といっしょに、自分のマークや、所持品の始末の仕方を覚える。</p> <p>○自分の好きな遊びを見つけ、取り組む中で徐々に安定し、楽しさを感じとっていく。</p> <p>○教師と一緒に遊んだり、話したりする中で親しみの気持ちを持つ。</p> <p>○教師の周りに集まって絵本を見たり、手遊びをしたりして、友達と同じ場で同じことをする楽しさを知る。</p> <p>○教師と一緒に小動物や草花を見たり触れたりする中で親しみを持つ。</p>
★環境構成 ☆援助・配慮		
<p>園生活の仕方を感じとり、安心して過ごせるように</p> <p>★ロッカーや靴箱に親しみやすいシールを貼り、各自の場所が分かりやすいようにしておく。</p> <p>☆「○○ちゃん、おはよう！」と、登園してきたことを心から待っていたことが伝わるよう笑顔で迎える。</p> <p>☆自分のロッカーなどの場所の分からない幼児には「○○ちゃんのシールは△△ね」と声をかけて、意識付け安心させていく。</p> <p>★室内の装飾は、春を感じさせるような色を多用し、明るく楽しい雰囲気をつくりだせるようにする。</p> <p>☆自分の居場所や生活の場を知り、幼稚園に親しみをもてるように園内めぐりする。</p> <p>☆集団生活に慣れるまでの生活の流れを考慮し、保育時間を少しずつ延長していく。</p> <p>☆靴の脱ぎ履き、トイレの使い方など視覚教材等を使ってわかりやすく知らせていくが、幼児の生活に圧迫感を与えて緊張を強めないように気をつける。</p> <p>☆身の回りの始末など自分でできることは、自分でできるよう励まし、がんばっていることを認めていく。</p> <p>★出し入れや片づけがしやすいよう、遊具を収納する場には分かりやすい表示をつけ、片付けの時間を十分にとる。</p> <p>☆片付けは教師も一緒に丁寧に言い、やり方を伝えていく。</p>	<p>興味のある遊びを見つけて遊びだせるように</p> <p>★生活調査票などを手がかりにして、好きな遊びや、家庭でしていた遊びを把握しすぐに遊びだせるように遊具を用意する。(パズル、ままごと道具、人形、ブロック、積み木など)</p> <p>★集団の中で不安定にならないように落ち着いて遊べる場やコーナーを設定する。</p> <p>(絵を描くコーナー、粘土のコーナー、折り紙、チラシのコーナー)</p> <p>★幼児の興味や関心に応じて遊具の量を調節していく。</p> <p>★家庭で親しんでいる絵本やよく知っているような絵本を出しておく。</p> <p>★教師の位置が幼児の視野の中に入っているようにし、安心感をもたせ、遊びに目が向くようにする。</p> <p>☆園が楽しいところだとわかり、安心して過ごせるように一人一人の様子に気を配る。</p> <p>☆一人一人に温かい言葉かけたり、スキンシップを十分にもつたりする。</p> <p>☆不安そうにしている幼児には、教師と一緒に遊んだり、興味のある遊びに誘ったりして遊びのきっかけを作る。</p>	<p>学級全体での遊びが楽しい経験として位置づくように</p> <p>★みんなが集まった時に親しみのある曲をみんなでも歌う機会をもつ。</p> <p>★簡単な手遊びをみんなでも楽しむ機会をもつ。</p> <p>★親しみのある絵本、紙芝居をみんなで見える機会をもつ。</p> <p>★リズムに乗って、体を動かして遊べる機会をもつ。</p> <p>☆一人一人と視線を合わせ自分に話しかけていると思えるような対応をしていく。</p> <p>☆親しみの気持ちをこめて一人一人の名前を呼んだり話しかけたりして、温かい雰囲気をつくる。</p> <p>☆幼稚園や教師への親しみ、友達の良い良さを感じとらせるように生活を展開し、期待を持たせる。</p>
<p>春の自然や身近な動植物に親しむために</p> <p>★花壇には花をいっぱい咲かせ、園庭には摘んで遊べる草花がある。</p> <p>★飼育小屋で小動物を見たり、触れたり、えさを与えたりできるように飼育小屋を整える。</p> <p>★昆虫を入れる容器や園で飼育できるように観察ケースを十分用意する。</p> <p>☆幼児と共に春の自然に触れ一人一人の驚きや発見を受け止め、共感していく。</p> <p>★教師が、草花を保育室に飾ったり遊びに取り入れたりする。</p> <p>★教師自身が小動物に優しい気持ちをもって接し、世話している姿を見せる。</p> <p>☆小動物とかわかわする時の一人一人の反応を受け止め、驚きや発見の言葉を大切にすること。</p>	<p>★みんなが集まった時に親しみのある曲をみんなでも歌う機会をもつ。</p> <p>★簡単な手遊びをみんなでも楽しむ機会をもつ。</p> <p>★親しみのある絵本、紙芝居をみんなで見える機会をもつ。</p> <p>★リズムに乗って、体を動かして遊べる機会をもつ。</p> <p>☆一人一人と視線を合わせ自分に話しかけていると思えるような対応をしていく。</p> <p>☆親しみの気持ちをこめて一人一人の名前を呼んだり話しかけたりして、温かい雰囲気をつくる。</p> <p>☆幼稚園や教師への親しみ、友達の良い良さを感じとらせるように生活を展開し、期待を持たせる。</p>	<p>★みんなが集まった時に親しみのある曲をみんなでも歌う機会をもつ。</p> <p>★簡単な手遊びをみんなでも楽しむ機会をもつ。</p> <p>★親しみのある絵本、紙芝居をみんなで見える機会をもつ。</p> <p>★リズムに乗って、体を動かして遊べる機会をもつ。</p> <p>☆一人一人と視線を合わせ自分に話しかけていると思えるような対応をしていく。</p> <p>☆親しみの気持ちをこめて一人一人の名前を呼んだり話しかけたりして、温かい雰囲気をつくる。</p> <p>☆幼稚園や教師への親しみ、友達の良い良さを感じとらせるように生活を展開し、期待を持たせる。</p>
<p>生活習慣</p> <p>園生活の仕方を知る</p> <p>★安全な登降園の仕方を覚える</p> <p>★所持品の始末</p> <p>★トイレや手洗いの仕方</p> <p>★挨拶や返事をする</p> <p>★みんなと一緒に集まる</p>	<p>家庭との連携</p> <p>★入園前の子どもようすを家庭調査票や家庭訪問などで把握し、一人一人の育ってきた過程や保護者の願いを理解していくように努める。</p> <p>★園だよりや懇談会などを通して園でのようすを具体的に伝え保護者と教師の共通理解を深め信頼関係を築いていく。</p>	<p>行事</p> <p>★入園式</p> <p>★交通安全指導</p> <p>★身体測定</p> <p>★家庭訪問</p> <p>★検尿、ぎょう虫検査</p> <p>★春の遠足</p> <p>★誕生会</p>

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○喜んで登園する幼児が多いが、中にはまだ、保護者の手をようやく離れて登園してくる幼児もいる。登園後は、教師をよりどころとしながら遊びを楽しむ姿が多く見られる。</p> <p>○園のようすや遊具のある場所がわかり、周りの遊具や遊びに目が向き何でもやってみたくなる。それぞれが自分の要求を出し、興味を持った物に触れて遊ぼうとする</p> <p>○所持品の始末など、できることを自分で行おうとする。中には自分でやろうとすることがうまくできなかつたりする子もいる。</p> <p>○草花に水をかけたり、野菜をもってきたりして、うさぎや鶏に食べさせたりして動植物に親しんでいる。</p>	<p>○生活のリズムがわかり、自分でできることは自分でしようとする。</p> <p>○いろいろな遊びに興味を持ち遊びの楽しさを味わう</p> <p>○身近な自然に触れ、動植物に興味を持つようになる。</p>	<p>○教師や友達、顔や名前を知り、親しみをもち、遊ぶことができるようになる。</p> <p>○興味のある遊具や場所を見つけて、自分からかかわって遊ぶ。</p> <p>○使った遊具や用具の片付けを教師と一緒にしながら、片付け後の気持ちよさを感じる</p> <p>○友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。</p>

★環境構成 ☆援助・配慮

園生活に慣れ身の回りのことが自分でできるように

- ★身の回りをきれいにする気持ちよさや方法を知らせる絵本・紙芝居を利用する。
- ★お弁当のおき方、排泄やうがいなどの流れ、手順がわかりやすいような視覚教材を準備する。
- ★お弁当はまず「食べることを大切に」、それから少しづつ、手順や食べ方などに気を付けさせる。
- ★並んでいる時の割り込みなど場面に応じて声をかけ、楽しく遊ぶための決まりがあることに気づかせる。
- ★砂遊びの後の足の洗いや手の洗いや方については、個々に具体的に伝えていく。
- ★片付では幼児自身で片付けたという気分が味わえるようにする。遊びが広がりすぎ、幼児だけで片付けることが難しい場合は、教師が少しずつ整理する。

身近な動植物に興味を持ってかかわれるように

- ★一人一人が興味を持って種をまいたり、水かけをしたりして、植物に触れるようにする。
- ★飼育物に触れたり、十分かわかれる場や機会をもつ。
- ★園周辺を散歩する機会を持つ(草花、虫を見つけた、誘いかけたり)
- ★植物に目が向くように「水をかけた」と幼児に声をかけたり、誘いかけたりする。
- ★教師も親しみの気持ちを持って、幼児と一緒に動物に接し「動物ってかわいいわね」という気持ちに共感する。

安全にふれあって遊べるように

- ★はじめに使う遊具や用具などの使い方は、その都度でいかに知らせていき、遊びの中で慣れるようにしていく。
- ★積み木や固定遊具などの安全な使い方は、機会をとらえて個々に伝えるのはもちろんのこと、時には全体に伝える場面もつくる。

自分のしたい遊びを見つけ、取りかわれるように

- ★身近なものを使って見立てたり組み合わせたり並べたりして、作って遊べるようにいろいろな材料や用具を用意しておく。
- (しろい紙、クレヨン、折り紙、のり、セロハンテープ、空き箱、カップ、リボンなど)
- ★遊びに応じて、工夫して使える遊具を用意しておく(積み木、ブロック、など)
- ★教師も幼児といっしょに遊ぶ中で、遊具や用具の扱い方を見せていく。
- ★自分から遊び出せない幼児には、その子が何に心を動かされているのかを確かめながら、そっと遊具をそばに置いたり一緒に居てみたり、安心して過ごせるようにしていく。
- ★幼児の名前を呼ぶ機会を意識的につくり、教師に親しみがもてるようにする。
- ★安心して自分を出してのびのびと遊べるように、幼児がしている動きを認める言葉をかけたり、楽しみに共感する。

みんなの中で楽しさが感じられるように

- ★みんなで楽しめる歌や手遊びを取り上げて楽しむ機会をもつ。(お母さん、おべんとうばいなど)
- ★簡単なルールのあるあそびをみんなでする機会をもつ。
- ★教師や友達とのふれあいや簡単なリズムや合図に合わせて動く遊びのおもしろさを感じられるように、鬼遊びやリズム遊びなどをクラス全体で楽しむ機会をつくる。

生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居	行事
<ul style="list-style-type: none"> *挨拶、返事など必要な言葉を使う 「おはよう」「さようなら」「はい」など *片付けや手伝いをする *食事の仕方を身につける 手を洗う、こぼさないで食べる 	<ul style="list-style-type: none"> *お弁当について 初めは子どもの食べる様子を見ながら量を調節してもらい、全部食べることができた満足感を味わえるようにしてもらう。 *自分の持ち物には名前や目印をつけてもらい、自分の物がわかるようにしてもらう。自分でできることは、できるだけ自分でする機械をつくってもらおうようにする 	<ul style="list-style-type: none"> *せんたくあちやん *どろんこハリー *そらいろのたね、はらぺこあおむし 紙芝居*交通安全関係*とんでいったこいのぼり 歌、リズム *こいのぼり *おかあさん *お弁当の歌 *げんこつ山のたぬきさん *あしぶみたんたん *むすんでひらいて *くいしんぼうのごりら 	<ul style="list-style-type: none"> *弁当開始 *春の遠足 *内科・歯科検診 *保育参観・学級懇談会 *交通安全指導 *5月生まれの誕生会

6月の指導計画 (4歳児)

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○教師に遊んだことを伝えようとしたり、困っている時に助けを呼んだりするなど、教師への親しきが増してくる。</p> <p>○友達と一緒に遊ぶの興味を持ち、同じ場で遊んだり、関心のある友達を追いかけたりする。又、気の合う友達見つけて一緒に遊ぶことを楽しむようになる。</p> <p>○自分の気持ちを出して遊ぶようになるが、自分の思いだけで動き、トラブルがおこることもある。</p> <p>○水、砂、土に触れて泥んこになって遊んだり、砂場でままごと遊びをしている。年長児が虫捕りや幼虫探しをするのを見ながら真似て遊ぶようになる。</p>	<p>○好きな遊びや場を見つけ、教師や友だちと十分にかかわって遊びを楽しむようになる。</p> <p>○いろいろな遊具や物に興味を持ち、自分から遊ぼうとする。</p> <p>○身近な小動物や草花に親しみをもち、かかわって遊ぶようになる。</p> <p>○園生活で必要なことを自分でしようとする。</p>	<p>○同じ場で教師や友達といろいろなことをして一緒に過ごすことを楽しむ。</p> <p>○粘土などの可塑性のある素材や材料、遊具や用具などに興味を持ち、感触を味わう。</p> <p>○友だちと遊ぶ中で遊具をみんなと一緒に使うことを知る。</p> <p>○衣服の着脱やしまいが遊びに志じてできる。</p> <p>○身近な動物に興味を持ち関わって遊ぶ。</p> <p>○プールでの遊び方を知り、慣れる。</p>
★環境構成 ☆援助・配慮		
<p>動物や自然現象などに触れることができるように</p>		
<p>★昆虫などをとったりやすいように用具を準備する。(虫かご、虫とりありみ、飼育箱など)</p>		
<p>★水やりをして、植物の生長に目を向ける機会をつくる。(朝顔、ひまわり、ホウセンカなどの種の発芽、ビーマンやなすの生長など)</p>		
<p>★梅雨時ならではの自然現象を活用したり、それに関する教材を準備したりする。(雨、雷、水たまり、カタツムリ、歌：あまだれぼたん・カタツムリ絵本：なつちゃんのかきいなか)</p>		
<p>★幼児の発見した喜びや驚きの気持ちを受け止めたり、共に行動して共感したりする。</p>		
<p>★幼児と一緒に栽培物の世話をしながら、植物の生長を見たり、水やりの必要性を知らせたりする。</p>		
<p>★教師が自ら園内の小動物の世話をしたりかかわったりしている姿を見せ、幼児も手伝ったりかかわったりしやすいようにする。</p>		
<p>季節の変化に適応し、自ら体調を感じながら健康で安全な生活を知っていくように</p>		
<p>★具体的にわかるような教材を利用したり、話したりする機会を持つ。 (汗の拭き方や衣服の調節の仕方についての手作り教材、視聴覚教材、園内での生活の仕方についての話など)</p>		
<p>★みんなですでたことのあるリズムや踊りが自分たちで出せるように、使いやすいところに準備しておく。</p>		
<p>★体を動かして遊べるような新しい遊具を提示する。(巧技台、巧技用滑り台など)</p>		
<p>★身近で遊んでいる友達や同じ遊びをしている友達に目看向くような言葉をかける</p>		
<p>★トラブルがおきたときは双方の気持ちを受け止め、自分とは違う相手の存在に気づかせていく。</p>		
<p>感触を味わえるような素材に親しみ、開放感を味わえるように</p>		
<p>★直接接触して、感触を味わえるような素材や材料を準備する。(水、土、砂、泥粘土、フィンガーペイントなど)</p>		
<p>★個の要求に合わせて、砂場の遊びのイメージが広がるような補助教材を用意する。(砂場道具、塩ビ管、木片等)</p>		
<p>★体全体で楽しめる遊びを提示する。(絵の具のぬたくり、手型押しなど)</p>		
<p>★プールに親しめるような導入の仕方を工夫する。 (絵本【おふるだいき】 紙芝居 プールごっこなど)</p>		
<p>★プールでは、危険のないように安全指導を十分に行う。また、シャワーや目を洗うことなどの必要性を知らせる。</p>		
<p>★梅雨時には、幼児の気持ちを発散させる遊びを取り入れる。 (トランポリン、遊戯室での鬼ごっこなど)</p>		
<p>★幼児と一緒に行動し、積極的に素材に触れながら、遊びを伝えたり、一人一人の気持ちを受けとめて対応したずる。</p>		
<p>生活習慣</p>	<p>家庭との連携</p>	<p>絵本・紙芝居</p> <p>行事</p>
<p>* 衣服の着脱ができる。</p> <p>* 汚れた手足をきれいに洗う。</p> <p>* 歯磨きをする習慣を身につける。</p> <p>* 梅雨時の過ごし方を知る。</p> <p>* 火災時の安全な避難の仕方を知る。 ・火事の怖さを知る。 ・避難訓練の約束を守る。</p>	<p>* 水遊びが盛んになるので着替えのできる服、汚れても気にしない服を準備してもらう。</p> <p>* プール遊びに伴う健康チェックをしてもらいプールカードや着替えなど忘れないうよう協力してもらう。</p>	<p>* おたまたやくしの 101 ちゃん * むしばミュー ータンスのほうけん * おりょうとうりとうさん</p> <p>歌・リズム</p> <p>* はをみがまじょう * かたつむり * かえるのうた * あめふりくまのこ</p> <p>* 菌みがき指導 * 園外保育 * 避難訓練 * プール遊び開始</p>

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○何がどこにあるのかかわり自分の使いたいものを自由に使い遊んでいる。一見雑然とした雰囲気の中で、それぞれのペースで動いている。</p> <p>○友だちがいろいろすることがうれしく、同じものを手にしたり、作ったりしている。しかし、それぞれが自分の思いで動き、トラブルが多い。</p> <p>○水遊びが活発になり、喜んで取り組んでいる。プールが始まって、水しぶきに歓声をあげたり開放的な雰囲気になっている。</p> <p>○教師に少し手助けをしてもらったり、着替えのコツを教えてもらったり、時間はかかるが自分でやろうとする子が増えている。</p> <p>○小動物や草花に親しみ、大切に育てたり、色水を作ったりして、興味をもって遊んでいる。</p>	<p>○教師や友だちとのかかわりを通して、園生活になれ、安定して過ごす。</p> <p>○興味ある環境に触れ、生活経験を広げようとする。</p> <p>○生活や遊びに必要な身の回りのことを自分でやろうとする。</p>	<p>○気の合った友だちと一緒に同じことをしたり、同じ場で遊んだりする楽しさを感じる。</p> <p>○学級の友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○材料を選んで好きなものを作ったり、飾ったり、遊んだりする。</p> <p>○水に慣れ、冷たさや気持ちよさなどをじゅうぶんに感じながら、水の感触を楽しむ。</p> <p>○ぬれた汚れた服や体を、自分で後始末する。</p> <p>○水の危険性を知り、安全に気をつける。</p> <p>○身近な植物の生長、変化に興味をもち、収穫を楽しむにする。</p> <p>○夏休みに入ることを知り、友だちや教師と一緒に身の回りを整理する。</p>
★環境構成 ☆援助・配慮		
<p><u>友だちとのかかわりがもてるように</u></p>	<p><u>水に慣れ親しみ、感触が味わえるように</u></p>	<p><u>身近な自然現象に触れることができるように</u></p>
<p>★気の合った友だちと安定して遊べる場や時間を十分もつ。</p> <p>★幼児が持ち出しやすく、場を簡単に作って置いていける遊具や用具を準備する。（積み木、ごさ、カーペット、ままごとセットなど）</p> <p>★必要なものが持ち出しやすいように分類の仕方や表示、収納場所を工夫する。</p> <p>★友だちと一緒に動いたり、同じものを持って遊んだりして楽しんでいく。</p> <p>★教師も遊びの一員としてかかわり、一緒に場を作って遊んだりしながら、場のつくり方や遊び方を知らせていく。</p>	<p>★水とかかわって遊ぶ楽しさが感じられる素材や材料を身近な所に用意する。（シャボン容器、牛乳パック、シャボン玉や色水遊びに使えるような材料等）</p> <p>★水の中でさまざまな動きが楽しめる遊びやそれを使い遊具や遊具を用意する。</p> <p>★プールに入れない幼児は日よけのあるところで見学させる。</p> <p>★教師も幼児と一緒に水遊びをすることで幼児と共に水の感触を味わい、共感していく。</p> <p>★水への恐怖心や個人差を考え、その幼児にあった動きが十分楽しめるようにする。</p> <p>★水を怖がる幼児に対しては、不安な気持ちを受け止め、教師との触れ合いを多くもつようにして安心させていく。</p>	<p>★手を加えられるいろいろな素材を提示し、遊びの中で使えるようにしていく。（空き箱、空き容器等）</p> <p>★興味をもって幼児がかかわられるような設定の仕方を工夫する。（七夕飾りの材料、作った物の提示など）</p> <p>★教師も一緒に動いたり作ったりしながら、いろいろな素材に目を向けさせていく。</p> <p>★幼児の作ったものを遊びの中に取り入れ、生かしていくようにする。</p> <p>1学期の生活を振り返り、個々に成長したことを知らせ、喜びがもてるようにする。</p>
<p><u>みんなと一緒に同じ遊びをする楽しさが味わえるように</u></p>	<p><u>生活する中で必要な動きに気付いていくように</u></p>	<p><u>身近な自然現象に触れることができるように</u></p>
<p>★学級のみんなと一緒に動けるような遊びを取り入れる。</p> <p>★簡単なルールがあり、みんなが楽しめる遊びをする機会をつくる。（イスとりゲーム、フルーツバスケットなど）</p> <p>★教師も一緒に遊びに加わりルールを伝えたり、楽しさを共感したりする。</p> <p>★みんなが楽しめるような雰囲気作りをする。</p>	<p>★水着の始末などが自分でできるように場の設定をし、やり方を確認する機会をもつ。（水着をしぼる、体を拭く）</p> <p>★プール遊びの後、十分に休息がとれるような遊びのコーナーを設定する。（ぬり絵、絵描き、粘土、絵本等）</p> <p>★夏休みに向けて、部屋の整理や身の回りの始末などにみんなで取り組む機会をもつ。</p> <p>★プール遊び、水遊びの危険性については事前に具体的に話し、約束を守る大切さを確認しておく。</p> <p>★身支度など時間のかかる幼児には、頑張っていることを認め、自信をもたせていく。</p> <p>★身の回りのことが自分でできるよう一緒にいき、きれいなことになっていく。</p>	<p>★昆虫がとりにやすいように用具を準備する。（虫取り網、虫かご、飼育箱）</p> <p>★捕まえた後はどうすればよいか、図鑑や絵本と一緒に調べ世話ができるようにする。</p> <p>★花壇や畑の植物に水やりをしてその生長に目を向ける機会をつくる。</p> <p>★植物の生長や変化に興味をもち、収穫して食べたときの喜びや感動を共に味わう。</p>
<p><u>いろいろな素材や材料にかかわることができるように</u></p>	<p><u>生活する中で必要な動きに気付いていくように</u></p>	<p><u>身近な自然現象に触れることができるように</u></p>
<p>★戸外では帽子をかぶって遊ぶ。</p> <p>★水遊びの時忘れ物をしない。</p> <p>★衣服の着脱、始末をする。</p> <p>★汗をかいたらハンカチで拭く。</p> <p>★休憩をとる。</p> <p>★遊んだ後の片づけをする。</p>	<p>★七夕、*あまのかわ、*昆虫図鑑、*栽培図鑑 *海の図鑑</p> <p>*スイミー *ぐりとぐらのカルピスイよく *うみべのハリー</p> <p>*すいかのたね *ノンタンおよぐのだいすき *ゴージャス</p> <p>歌・リズム</p> <p>*たなばたさま *せみのうた *やっほっほなつやすみ</p> <p>*キャンプたほい *とんでいったむぎわらぼうし</p>	<p>★七夕、*あまのかわ、*昆虫図鑑、*栽培図鑑 *海の図鑑</p> <p>*スイミー *ぐりとぐらのカルピスイよく *うみべのハリー</p> <p>*すいかのたね *ノンタンおよぐのだいすき *ゴージャス</p> <p>歌・リズム</p> <p>*たなばたさま *せみのうた *やっほっほなつやすみ</p> <p>*キャンプたほい *とんでいったむぎわらぼうし</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>
<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>	<p>★生活する中で必要な動きに気付いていくように</p>

9月の指導計画(4歳児)

幼稚園の姿	ねらい	内容
<p>○夏休みを終え、久しぶりの園生活。元気に登園してくる幼児もいるが、中には入園の頃のように不安そうにしている幼児もいる。</p> <p>○プール遊びで、だいたい水に慣れた幼児が多い。</p> <p>○水遊び、色水づくり、ままごと、虫捕り等1学期の遊びを再現したり話したりする中で教師や友だちとのつながりがとりもどしている。</p> <p>○涼しい室内だけで過ごそうとする幼児もいる。</p> <p>○自分の思いを積極的に主張するようになってきたが、相手の思いを汲み取ることができないので、手が出るなど、時には乱暴な行為となつてあらわられることもある。</p>	<p>○教師や友だちとのかかわりの中で、自分の思っていることや考えていることを表現し、安心感を味わう。</p> <p>○十分に体を動かして遊ぶ楽しさを味わい、友だちと遊びを変化させて楽しむ。</p>	<p>○夏休みの遊びを再現させて十分に楽しむ。</p> <p>○同じ遊びや仕事をすることで友だちとのかかわりをもつ。</p> <p>○自分なりのイメージを出しながら、友だちと材料や作るものの工夫をして遊ぶ。</p> <p>○戸外で体を動かす遊びに興味をもち、遊んだ後は汗を拭いたり、衣服を着替えたりする。</p>
★環境構成 ☆援助・配慮		
<p><u>久しぶりの園生活</u></p> <p>★園内外の整備や、遊具や用具の点検を十分にしておき、安全に遊べるようにしておく。</p> <p>☆長い夏休みを終え、久しぶりの園生活に喜んでいたり不安そうにしている幼児がいるので、一人一人のペースを考慮して、園生活のリズムを取り戻せるよう配慮する。</p> <p>☆夏休み中できるようなことや成長した姿を認め、自信がもてるようにしていく。</p> <p><u>友だちとかわって遊びだせるように</u></p> <p>★1学期に経験した遊びを再現して遊ぶようすが見られるので、幼児がやりたい遊びを十分に楽しめるように、遊具や用具は取り出しやすいところに整理しておく。</p> <p>(ボール遊び、色水遊び、シャボン玉遊び、虫捕り等)</p> <p>★まつばばたん、トレニアなどしぼんだ花を集めて色水を作り、ままごとやジュースやさんで発展していろいろ遊ぶ。</p> <p>★友だちと同じようなイメージをもって遊べるような材料や用具を用意する。(冠、ベルト、剣等)</p> <p>★自分のイメージで自由に作って表現できるような素材、材料を用意する。(空き箱、空き容器等)</p> <p>★夏休みの経験を再現できる場やその遊びに使えるような素材、用具などを準備する。(壁面の活用・・・海、プールのイメージ、お化け屋敷ごっこ・・・暗幕、積み木など、海ごっこ・・・ビニールシート、浮き輪、ビーチボールなど)</p> <p>☆一人一人との触れ合いの中で表現したいことをよく聞き、受け止めていく。また、いろいろな表現の方法や素材などに触れさせていく。</p> <p>☆夏休み中に経験したことや楽しかったことが遊びに再現できるよう、幼児の話を取り上げ、共感しながら、遊びのイメージを広げていく。また、年長児の影響を受けることが多いので、年長児の部屋に出かけていき、年長児の様子を見せたり、年長児と同じ場所で作ったりするようにする。</p>	<p><u>みんなで一緒に同じ遊びをする楽しさが味わえるように</u></p> <p>★簡単なルールがあったり即興的に楽しめる遊びや1学期に楽しんだ遊びをする機会をもつ。</p> <p>★みんなと一緒に歌ったり、踊ったりする中で夏の季節が感じられ、夏休みがイメージできるような歌や手遊びを用意する。</p> <p>★身近な生活や遊びが感じとれるような絵本、紙芝居を用意する。</p> <p>☆夏休み明け、適応するのに時間のかかる幼児に対しては接する機会を多くもち、安心させながら徐々に慣れさせていく。</p> <p><u>おじいちゃんおばあちゃんとのふれあいを持たために</u></p> <p>★地域のお年寄りや幼児の祖父母を招待しふれあう場づくりを工夫する。</p> <p>☆祖父母とのふれあいを通して、思いやりや感謝の気持ちの芽生えを培うようにする。</p> <p>☆祖父母へのプレゼント作りができるように声をかけたり、一緒に手伝ってあげるようにする。</p> <p>★仕上がったプレゼントを展示できる場を設定する。</p> <p><u>いろいろな遊びに取組めるように</u></p> <p>★体を動かして遊ぶコーナーを作り友だちと一緒に遊べるようにする。(かけっこ、竹馬、フープ、リズム)</p> <p>☆一人一人の取り組んでいる姿を認め、励ましながら自信につなげるようにする。</p> <p>☆教師自身が積極的に体を動かして遊ぶことの楽しさを準備し、自分達でラジカセを操作できるようにしておく。</p> <p>★幼児がよく知っている曲や好みそうな曲を準備し、自分達でラジカセを操作できるようにしておく。</p> <p>☆幼児自身の動きを大切にしながら、教師も一緒に表現し、音楽に合わせて表現する楽しさを味わわせる。</p> <p>☆年長児の取り組みを見て、「あんなふうになりたいな」という気持ちを意欲につなげていけるように援助する。</p>	<p>○夏休みの遊びを再現させて十分に楽しむ。</p> <p>○同じ遊びや仕事をすることで友だちとのかかわりをもつ。</p> <p>○自分なりのイメージを出しながら、友だちと材料や作るものの工夫をして遊ぶ。</p> <p>○戸外で体を動かす遊びに興味をもち、遊んだ後は汗を拭いたり、衣服を着替えたりする。</p>
<p><u>生活習慣</u></p> <p>★園生活のリズムをとりもどす。</p> <p>★遊んだ後の片づけをする。</p> <p>★身の回りの始末の仕方を再確認する。</p> <p>★園庭の清掃をする。</p> <p>★保護者と共に交通ルールを守って登降園</p>	<p><u>絵本・紙芝居</u></p> <p>★14匹のおつきみ、★パパおつきさまとって</p> <p>★はじめてのキャンプ★ばばばーちゃんシリーズ</p> <p>・歌・リズム</p> <p>★うみ ★おつきさま ★うんどうかいのうた</p> <p>★運動会のリズム、★手のひらを太陽に</p>	<p>○夏休みの遊びを再現させて十分に楽しむ。</p> <p>○同じ遊びや仕事をすることで友だちとのかかわりをもつ。</p> <p>○自分なりのイメージを出しながら、友だちと材料や作るものの工夫をして遊ぶ。</p> <p>○戸外で体を動かす遊びに興味をもち、遊んだ後は汗を拭いたり、衣服を着替えたりする。</p>
<p><u>家庭との連携</u></p> <p>★敬老の日の招待状を出して参加を呼びかける。</p> <p>★園庭周辺の清掃への協力依頼</p> <p>★運動会への取り組みのようすを送迎時や園便りで伝え、運動会を親子で楽しみに待てるようにする。</p>	<p><u>行事</u></p> <p>★2学期始業式</p> <p>★身体測定</p> <p>★交通安全指導</p> <p>★誕生会</p> <p>★お招き会</p> <p>★園庭清掃</p>	<p>○夏休みの遊びを再現させて十分に楽しむ。</p> <p>○同じ遊びや仕事をすることで友だちとのかかわりをもつ。</p> <p>○自分なりのイメージを出しながら、友だちと材料や作るものの工夫をして遊ぶ。</p> <p>○戸外で体を動かす遊びに興味をもち、遊んだ後は汗を拭いたり、衣服を着替えたりする。</p>

10月の指導計画(4歳児)

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○やりたい遊びに繰り返し取り組む中で、自分の思いを言葉や動きで表すが、友だちの思いや動きとかみ合わず、トラブルになることも多い。</p> <p>○年長児が遊んでいることや、友だちの楽しんでいる姿に刺激を受けて、今まで興味のない遊びにも、やってみようとする姿が見られる。</p> <p>○運動遊びに興味をもち、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。</p> <p>○ごっこ遊びが盛んになり、友だちと話し合っって決めて遊ぶことが決めるが、自分の思いがなかなか通らないため遊びが中断することがある。</p> <p>○園庭の草の茂みや園舎の周りで、コウロギやバッタなどの虫取りを楽しんでいる。</p>	<p>○先生や友達と一緒に、体を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。</p> <p>○友だちのしていることに、興味をもち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○自分のイメージをいろいろな方法で表現しようとする。</p>	<p>○友だちや年長児の刺激を受けて、いろいろな運動あそびに取り組む。</p> <p>○力いっぱい走り走ったり踊ったりする心地よさを感じる。</p> <p>○簡単なルールを理解したり守ったりして友達と遊ぶ。</p> <p>○友だちとリズムカルな曲にあわせて踊りを楽しむ。</p> <p>○用具や遊具の安全な使い方を学ぶ。</p> <p>○友だちのしていることに興味をもち、仲間に入って遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○自分の思ったことや考えたことを教師や友だちに言葉で伝える。</p> <p>○イメージをいろいろな方法で表現する楽しさを味わう。</p> <p>○秋の虫、雲の流れ、心地よい風を感じながら秋の気配を感じる。</p>
★環境構成 ☆援助・配感		
<p>★体を動かしたい気持ち満足させる遊びをなげかけたり、場を設定したりする。(かけっこ、リレー)</p> <p>★幼児なりに目的がもてるような用具を準備する。(ボールテープ、カラーコーン、バトン)</p> <p>★伸び伸びと体を動かせるような広い場や時間を確保する。</p> <p>★教師もいっしょに動き、体を動かして遊ぶ楽しさを共感する。</p> <p>★繰り返して遊んでいくうちに、幼児だけで遊びを進められるようになるようにする。</p> <p>★機会をとらえて、認めたり励ましたりしながら、幼児が自分でやるようとする気持ちをもたせていく。</p> <p>★みんなといっしょに動く楽しさを感じられるように</p> <p>★友だちといっしょに簡単に取り組み、活気を味わえる遊びや必要な教具を準備する。(玉入れ、紅白玉、線引き)</p> <p>★思わず体が動き出すような曲を準備したり、組み合わせて遊びが楽しめるような遊具や用具を工夫したりする。</p> <p>★運動会を知り、期待がもてるような歌や視聴覚教材を用意する。</p> <p>★友だちや年長児のしている遊びに興味をもっている姿を受け止め、教師間の連絡を密にして、かかわり合っって遊ぶ場をもつようにする。</p> <p>★みんなでいっしょに動く時の最小限のルールを知らせていく。</p> <p>★みんなが活動する時にかかわろうとしない幼児には、今までの取り組みや経験の差に配慮しながら、認めたり励ましたりして参加する楽しさを感じとらせていく。</p> <p>★みんなが経験したことを自分たちで繰り返し楽しめられるように</p> <p>★運動会での遊びを再現するのに必要なものや場を用意しておく。(バトン、ゴールテープ、ラインカーなど)</p> <p>★みんなが体を動かして楽しめる簡単な遊びを知らせる。(ドッジボール、たこおに、かくれんぼなど)</p> <p>★友だちが友だちと一緒に行動し楽しんでいっている姿に共感したり、認めたりすることで、友達と遊ぶ楽しさや「またやろう」という気持ちになっつけていく。</p>	<p>★動物を見たり、かかわったりする機会をもつ。(こどものくに、園内の動物)</p> <p>★興味、関心をもちやすい絵本や図鑑、ビデオ等を用意する。</p> <p>★年長児といっしょに動物を見たり、バスに乗ったりするので、集団行動のきまりを守りながら楽しく過ごせるようにする。</p> <p>★動物の特徴など見たこと感じたことを幼児と話したり、なりきりして動いたりしていっしょに表現することを楽しみ、ごっこ遊びへとつなげていけるように援助する。</p> <p>★身近な秋の自然と十分触れ合い、さわやかさを感じとれるように</p> <p>★自然と十分にかかわれることができる近くの公園や小学校を活用する。(とんぼ、ばった、こおろぎ)</p> <p>★秋の自然物を飾ったり提示したり遊びの中に取り入れたいりする。</p> <p>★自然の中での幼児の気づきや発見を受け止め、いっしょに見たり他の幼児に知らせたいりする。</p> <p>★昆虫や植物に関する絵本や図鑑を用意して幼児といっしょに調べたいりする。</p> <p>★畑や花壇を耕し、冬野菜や春咲きの花の植え付け準備をする。(ジャガイモ、にんじん、球根類など)</p> <p>★野菜や花の苗を幼児といっしょに植え植物の生長のようすに興味関心をもたせるようにする。</p> <p>★教師が水やりをしたり世話をしているのを見て、いっしょにかかわれるようにする。</p>	<p>幼児のイメージを刺激し、新たな経験をすることができるよう</p> <p>幼児のイメージを刺激し、新たな経験をすることができるよう</p>
<p>★登園時間に遅れないようにする。</p> <p>★戸外では帽子をかぶる。</p> <p>★汗をかいたらハンカチでふく。衣服を着替える。</p> <p>★疲れたら休息をとる</p> <p>★朝食をしっかりとる</p>	<p>★運動会のねらいや取り組み方をわかりやすく伝える。登園時間に遅れがちな子には連絡をとり、協力依頼する。</p>	<p>絵本・紙芝居・</p> <p>★だんまりこおろぎ、*とべばった *かばまだら</p> <p>*とんぼのうんどうかい *かばくん</p> <p>歌・リズム</p> <p>*うんどうかいのうた *こおろぎ *ぞうさん</p> <p>*バスごっこ *アイアイ</p>
家庭との連携		行事

11月の指導計画(4歳児)

<p>幼児の姿</p>	<p>ねらい</p>	<p>内容</p>
<p>○年長児に刺激されている遊びに自分からかわり、自分なりの動きや表現を楽しもうとしている。 ○今まで興味なかったことや苦手だと思っていたことでも、友だちがやっていることをまきかけに、自分からやってみようとする姿が見られるようになってきた。 ○友達同士で誘い合って遊ぶが始めることが多くなってきている。興味やイメージが合えば遊びが楽しくなっているが、おたがいの主張が強く、意見のぶつかり合いが多くなってきた。 ○リレーや鬼ごっこなど、みんなのやっている遊びに喜んで参加する子が増えてきた。自分ができるだけでなく積極的に参加する姿やたくましく、雰囲気があり、体力もついできている。</p>	<p>○友だちとかかわりながらいろいろな遊びや表現を楽しむ。 ○秋の自然に触れながら、自然物を使ったり、遊びに取り入れたりして十分に楽しむ。</p>	<p>○自分なりのイメージをだして遊ぶ。 ○遊びに必要なものをつくって遊ぶ。 ○自分の考えたことを話したり、教師や友だちの話を聞いたりする。 ○自分の思いを絵や言葉で表現する。 ○友だちと一緒に動いたり、かわらわたりする楽しさを味わう。 ○自然物遊びの中に取り入れながら、その特徴に気付いたり、興味をもったりする。</p>
<p>★環境構成 ☆援助・配慮</p>		
<p>戸外で友だちとかかわって遊ぶ中で伸び伸びと自分の動きが出せるように ★みんなが体を動かして楽しめる簡単な遊びを知らせる。(ドッジやけん、たかおに、かくれんぼ、ダンスなど) ★十分に友だちとかかわれる場や時間を確保する。(大きな砂山やトンネル作り、冢、基地、探検ごっこ) ★教師も遊びの一員として参加し、遊びの中で一人一人の幼児の良さを認めていく。 ★遊びの中で、ルールを守って遊ぶ必要性に気づかせていく。 ★年長児のしている遊びを見たり、入れてもらったりする機会を通して、勢いのある遊びのおもしろさを感じたり、かわって遊ぶ楽しさを自然に体験したりできるようにする。 イメージをいろいろな方法で表現できるように ★イメージを立体的に表現できるいろいろな素材を準備する。 (形や大きさの違う空き箱、ボール紙、段ボール、割り箸、モール、セロファン、フィルムケース等) ★経験したことを思いのまま表せて、表現する楽しさが味わえるような素材や用具を準備する。 (色画用紙、大きさの違う画用紙、空き箱、段ボール、えのぐ、マジック、クレパス) ★表現をひろげるような遊びを取り入れる。(野菜のスタンプ、貼り絵、紙粘土製作など) ★自分の作品を飾ったり、友だちの作品を見て興味をもったりする機会や環境をつくる。(壁面飾り) ★つくった物を使って遊び、イメージを広げられるようなコーナー作りを工夫する。 ★幼児のイメージに近づくように、素材や材料を提示したり、一緒に探したりする。 ★幼児の表現や製作物などを認めていくことで、表現する喜びや楽しさを感じさせ、満足感や「またやってみよう」という気持ちをもたせていく。 ★他の幼児の作品にも関心をもたせ、刺激になるように働きかける。 ★イメージをもちにくい幼児には、十分にかかわりながらその幼児に応じた方法でイメージをもたせていく。</p>	<p>秋の自然を身近に感じながら、ふれ合うことができるように ★近隣の公園に行き、秋の自然にふれる機会をもつ。 ★教師も幼児と共に落ち葉を拾い、木の葉探し、虫とりなどをしながら、発見したり感動したりする気持ちを伝え合っていくようにする。 ★拾ってきた落ち葉や木の葉を集めて色分け、形ごとに分けたり、遊びに使ったりしながら、色の美しさや形のおもしろさに気付かせていく。 ★落ち葉や木の葉を使った遊びが工夫できるように、いろいろな材料を用意しておく。 ★遊びの中に自然物を取り入れる。(がじゅまるの笛、野菜のスタンプ、装飾用松ぼっくり、どんぐり駒) ★幼児一人一人の表現を大切に受けとめ、共感したり、一緒に考えたり、手伝ったりする。 ★教師自身が自然物で遊ぶ物をつくり、遊んでいる姿を見せたりして遊びを紹介し興味をもたせる。 ★栽培物に興味関心を持って世話をするような環境を工夫する。(個人鉢の栽培、栽培物の配置) ★秋の自然が感じられるような絵本や歌を用意する。 自分なりの目的をもつてとりくめるように ★「できるようにしたい」という気持ちを実現できる遊具や用具を提示する。 (個人持ち跳び縄、長縄、鉄棒、ゴムまり、ゴムひも、フープ、ホッピング) ★新しい遊びや伝承遊びなどの旅行を取り入れる。 ★戸外遊びを促し、体を動かす楽しさが感じられる遊具や用具を準備する。 ★幼児の「やってみよう」という気持ちや目的をもち取り組む姿を認めたり、励ましたり見守ったりする。</p>	<p>絵本・紙芝居 * おおきななおきなおいも * どうぞのいす * 14ひきのやまいもほり * 歌・リズム * まつぼっくり * どんぐりころころ * やきいもグーチーパー * げんきにごと</p>
<p>生活習慣 * 遊んだ後の遊具や用具の片づけをする。 * 衣服の調節をする。 * トイレの使い方の再確認</p>	<p>家庭との連携 * 製作意欲が高まってきているので、家庭で不用となった箱、容器、端切れ等持ってきてもらうようにする。 * 親子で秋の自然に興味をもてるよう近隣の公園や自然物を使った遊びを紹介していく。</p>	<p>行事 * 遊園訓練 * 園外保育 * 誕生会</p>

1 2月の指導計画 (4歳児)

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○年長児がしている遊びや周りの出来事に関心が向き、自分たちの遊びにとりいれようとする。また、友だちと一緒に遊ぶおもしろさがわかって、自分たちで進めようとする。</p> <p>○友だちの遊びを見てまねたり、気に入ったところを取り入れたりしてあそびを試している、うまくいかず困っていることも多いが、自分で何とかしようと、あきらめずがんばる子もいる。</p> <p>○人前で表現することを恥ずかしがる幼児もいるが、リズムに合わせて踊ったり、役になりきって演じたり、いろいろな表現を友だちと一緒に楽しんでいる。</p>	<p>○自分の気持ちや考えを十分に出し、友だちとのかわわりを楽しみながら遊ぶようになる。</p> <p>○いろいろな遊びに興味をもち、自分のイメージや考えを表現する。</p>	<p>○自分の思いや気持ちがあわかってもらえたとときのうれしさを味わう。</p> <p>○遊びに必要な物を、いろいろな素材を使ってつくる。</p> <p>○リズムに合わせて踊ったり、お話の中の役になって動いたり、いろいろな表現を楽しむ。</p> <p>○ルールのある遊びや体を動かす遊びの楽しさを味わう。</p> <p>○年末のいろいろな行事や街のようすに関心を持つ。</p> <p>○冬休みを迎える準備をする。</p>
<p>★環境構成 ☆援助・配慮</p>		
<p>いろいろな表現遊びの楽しさを感じるように</p>		
<p>★イメージを共通にもって動けるように</p> <p>★クラスのみんなと一緒に飾る物を作る機会をもち、素材を準備する。(壁面に飾る木の葉、イメージを実現しやすく扱いやすい素材としてモールドなど)</p> <p>★簡単な楽器遊びがしやすいリズムカルな曲を用意する。(山の音楽家)「やまびこさん」「こぶたぬきつねこ」</p> <p>★表現遊びのヒントになる物や絵本などを準備する(指人形、ペープサート、「おおきなかぶ」 「三匹のこぶた」等)</p> <p>★ごっこ遊びに使う物や身につけるとよりそれらしくなるものを提示する。(ビニール袋、スカート、エプロン、お面、マントにするふるしきなど)</p> <p>☆教師も遊び仲間の一員として参加し、個々の幼児に応じて必要な援助をしていく。(イメージを出させる、考えや言葉や動きなどで出させる、)</p>	<p>★イメージを実現しやすく使いやすいような用具や素材などを幼児の欲求に応じながら準備する。(お面作りの材料、ペープサートの材料、身につける物としてスカート、エプロン、スカート、風呂敷)</p> <p>★表現が楽しめ、繰り返しの言葉が多いなど幼児達が劇化するのにふさわしい教材を選ぶ。(「てぶくろ」 「三匹のこぶた」 「ノンタン」 「おおきなかぶ」 「三匹のこぶた」 「おおきなかぶ」 「おおきなかぶ」 「3匹のやぎのがらがらどん」 「3時のお茶にきてください」 など)</p> <p>★じっくりと遊べる場やコーナーを作ったり、時間を十分とったりする。</p> <p>★友だちと一緒に歌う心地よさを感じとれる教材を用意する。</p> <p>★他の学級と表現を見せ合う機会を設ける。</p> <p>★表現の場の小道具・大道具が自由に使えるようにする。</p> <p>☆幼児なりに感じたことや、気付いたことを伝え合える雰囲気をつくる。</p> <p>☆幼児同士で繰り返して遊べるようにし、その中で言葉や動きを楽しく演じられるよう援助する。</p> <p>☆個々の幼児が工夫した点を見つけて、認めたり、他の幼児との違いをほめたりして自分で考えたり、ものを作ったりする喜びを味わわせる。</p> <p>☆みんなで遊ぶことが楽しいと感じられるような雰囲気づくりに努める。</p>	<p>年末ということが感じられるように</p> <p>☆年末年始の社会事象を意図的に生活にとりあげ、自分たちでできることで、片づけ、ロッカーの整理など大掃除をして、新しい年を迎えることに気付かせる。</p>
<p>自分なりの目的やイメージをもてるように</p>		
<p>★描いたり、作ったりできる素材を準備すると共に、教師の作った物や本などを提示し刺激とする。(お面、ペープサートなどの材料、用具など)</p> <p>★やってみたらできることがわかるような遊具を提示する。(短縄、まり、鉄棒、フープ)</p> <p>★親しみやすい楽器や曲などを用意する。(カステネット、すず、たんぶりん、トライアングル「楽しいね」 「子どもの楽隊」)</p> <p>☆個々の幼児の取り組んでいることや頑張っている姿を全体の場で伝えたり、認めたりする機会をもち他の幼児への刺激にする。</p> <p>☆個々の幼児の喜びや努力を受けとめ、認めたり励ましたりして自信を持たせる。</p> <p>☆目的をもちやすい目安や目標を個に応じて援助する。</p>	<p>★かさじぞう *ぐりとぐらのおきやくさま</p> <p>*はなをくんくん *さむがりのサリタさん</p> <p>歌・リズム</p> <p>*あわてんぼうのサンタクロース</p> <p>*十二支かぞえうた</p>	<p>絵本・紙芝居</p> <p>行事</p> <p>*おゆうぎかい</p> <p>*誕生会</p> <p>*おたのしみかい</p> <p>*学級懇談会</p> <p>*2学期終業式</p> <p>*冬休み</p>
<p>生活習慣</p>		
<p>* うがい、手洗いの習慣を身につける。</p> <p>* 厚着をしないよう衣服の調節をする。</p> <p>* 遊具や用具、自分の身の回りを片づける。</p>	<p>家庭との連携</p> <p>* 風邪の流行する時期なので、うがい、手洗いの習慣を身につけさせる。</p> <p>* 冬休みの過ごし方、しおりを通して家庭への協力を依頼する。</p> <p>* 生活発表会の案内をして、園と家庭とで幼児の成長を共に喜び合えるようにする。</p>	

1月の指導計画（4歳児）

幼児の姿	ねらい	内容
<ul style="list-style-type: none"> ○ ほとんどの子ども達が友達との再会を喜び、元気に登園してくる。冬休み中に体験したことを教師に進んで話そうとする姿が見られる。 ○ トランプやかかるたとりなど興味を持ち、気の合う友達と遊ぶ様子が見られる。また、はねつきやこままわしなど、年長児の姿や友達を見て興味をもつようになり取り組む。出きるようになりたいと繰り返して取り組む子が増えてくる。 ○ 気のあった友達との結びつきが強くなり、小グループであそぶようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分なりに考えたり工夫したりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○ 進んで戸外に出て、体を動かして遊ぼうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と一緒にお正月遊びを楽しむ。 ○ 自分の思いや考えを出しながら友達と関わってあそぶ。 ○ 自分の楽しかったことや感じたことなどを話したり、友達の話の話を聞いたりする。 ○ 戸外で体を動かして活発に遊ぶ。 ○ 身近な動物の世話を自分たちでしようとする気持ちを持つ。 ○ 友達に分かるように自分の考えを話そうとしたり、友達の話の話を聞こうとしたりする。
★環境構成 ☆援助・配慮		
<p><u>友達とかかわる楽しさをあじわえるように</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★2学期の遊びが再現できるように遊具を目につきやすいところに準備する。 (引きゴマ、跳び縄、長縄、あやとり、ボール 中型積み木、ままごと道具など) ★家庭でも親しんでいる遊具を提示する。 (かるた、トランプ、すごろく、ふくわらい、ゲーム版、さいころなど) ★個々の幼児の興味、関心に対応できる遊具の種類や数の提示の仕方を工夫する。 ★幼児同士が誘い合って遊ぶ場やコーナー作りに必要なものを準備する。 (カーペット、ごさ、テーブルなど) <p>☆休み明けで安定が図れるように個に応じて配慮し、遊びに入れるようにする。 ☆友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるように、一人一人の経験に応じて対応する。</p>	<p><u>簡単なルールのある遊びを自分たちで繰り返しのしめるように</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★遊びに使う物を一定の場に置く。 (色帽子、石灰、ラインカー、いろいろなボール、長縄など) ★きまりやルールがあることでのしさがますますよくなる教材を取り入れる。 (双六、トランプ、こま回し、中あてドッジボール、鬼ごっこなど) ★お互いの遊びが十分できる場の設定をする。 (いつも使い慣れた空間、石灰でラインを引き区切った場など) <p>☆個々の幼児の良い発想を認め自信をもたせる。 ☆お互いの考えを出し合いながら遊びを進めていくように教師も仲間の一員として参加する。 ☆遊びによって経験の差があるのでチーム分けやメンバー構成など考慮する。 ☆ルールは幼児の必要に応じて一緒に考えたり、つくったりする。</p>	
<p><u>自分たちで生活や仕事を進める気持ちをもてるように</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★飼育物の餌の種類、世話の仕方などを分かりやすく表示する。 ★年長児の当番活動を見る機会を積極的につくる。意欲を持って仕事に参加する幼児の姿を学級や他のグループにも知らせ、刺激していく。 <p>☆自分たちでやってみてみたい気持ちを認め、援助しながら自ら自信をもたせる。</p>	<p><u>戸外で体を動かして遊ぶ楽しさが感じられるように</u></p> <p>☆なかなかな戸外に出たがらない子には、声かけをして誘うようにして、体を動かす楽しさが感じられるように援助する。</p> <p>☆トラブルがおきた場面では、子ども同士で思いが伝えられるように仲立ちしていく。 ☆自分の思いを言葉で話したり、相手の話をじっくり聞いたりできるように援助していく。</p>	
<p>生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> * うがいや手洗いをして風邪の予防をする。 * お正月遊びについての安全を守る。 ・安全な遊び方を知る。 ・遊んだものは元の場所へ戻す。 ・基本的な生活習慣の見直し ・園生活の仕方を再確認する。 ・幼稚園のきままりを再確認する。 	<p>家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> * 三学期スタートにあたって成長を共に喜び合い、園生活や遊びへの取り組みについて知ってもらい、子ども達がよりよい活動ができるように保護者にも協力してもらおうようにする。 	<p>絵本・紙芝居</p> <p>かさじぞう 鬼ムーチー かにむかし 神縄の昔話 かまくらのお正月 十二支のはなし 歌-リズム</p> <p>たこのうた ことしのぼたん あぶくたった もちつき やぎさんゆうびん</p> <p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> * 3学期始業式 * 身体測定 * ムーチー作り * 1月生まれの誕生会

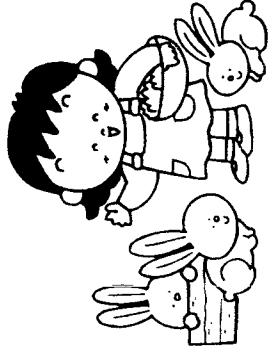
幼児の姿	ねらい	内容
<p>○仲良しの友だちを誘い合ったり、同じ遊びをする友だち同士で集まったりして、自分たちの遊びを楽しんでいる。</p> <p>○ほとんどの子が、自分の気持ちや考えを表して遊ぶため意見の対立やトラブルなども見られる。</p> <p>○こま回しや縄跳びなど個々に夢中になって取り組んでいる。</p> <p>○気の合う友だちとごっこ遊びを楽しんでいる。</p>	<p>○友だちとかかわりながら、それぞれの思いやイメージを膨らませていろいろな遊びを楽しむとする。</p> <p>○冬の自然を感じたり、進んで体を動かしたりして遊ぶ。</p>	<p>○自分の考えを伝えたり、相手の考えを受け入れたりして遊ぶ。</p> <p>○ルールのある遊びを楽しむ。</p> <p>○遊びに必要なものを友だちと一緒に考えたり作りたりする。</p> <p>○寒さに負けず戸外で元気に遊ぶ。</p> <p>○冬の健康生活に必要な習慣を身につける。</p> <p>○安全な場の使い方や遊具や用具の使い方に気づく。</p>
★環境構成 ☆援助・配慮		
<p><u>友だちとかかわり、一緒に遊ぶ楽しさが感じられるように</u></p> <p>★友だちと誘い合って遊べるような場やコーナーをつくる。</p> <p>★遊びの続きができるような場の整理や片付けを幼児と一緒に考える。</p> <p>★友だちと話し合ってルールのある遊びを楽しむようにカードなどを用意する。(カルタ、トランプ、しりとり)</p> <p>★自分たちで遊びを進めていく様子を観めたり、たっぷりと遊べる場や時間を保障する。</p> <p>★トラブルが起きた時にはお互いの言い分を出し合いながら解決していくように援助する。</p>	<p><u>戸外で体を動かして遊ぶ楽しさが感じられるように</u></p> <p>★みんなで体を動かして遊ぶ機会をつくったり、必要と思われる遊具などを準備する。(ボール、ライン引き、長縄、短縄など)</p> <p>★あまり戸外に出たがらない幼児には、声をかけ、体を動かす楽しさが感じられるように援助する。</p> <p>★鬼ごっこなど友だちや年長児と一緒に遊べるように声をかけたり教師もかかわって遊び、大勢で遊ぶと楽しいことが味わえるようにする。</p> <p><u>自分たちで生活を進める実感がもてるように</u></p> <p>★年長児と一緒に当番活動を行い、教えてもらってもらう場や機会を積極的につくる。</p> <p>★小動物のえさの種類、世話の仕方などわかりやすく表示する。</p> <p>★年長児に教えてもらい、できそうなことから一緒にするよう援助する。</p> <p>★年長児担任と連携しかかわりをもたせる。</p>	<p><u>冬の自然を感じ、過ごし方に気づくように</u></p> <p>★戸外に出て、冬の自然を感じられるようにする。 (北風、空、小動物の様子)</p> <p>★冬の自然に関する絵本や歌を用意する。</p> <p>★身近な自然の変化についての気付きを受け止め共感する。</p> <p>★手洗いやうがいの大切さを知らせる視聴覚教材を準備する。</p> <p>★戸外から帰った時の、手洗いやうがい、衣服の調整や始末など教師が一緒に行うことで習慣づけていく。</p> <p><u>収穫の喜びを味わえるように</u></p> <p>★じゃがいも掘りができよう、畑の周辺を整え、用具を準備する。</p> <p>★用具の安全な使い方を知らせ注意を促す。</p> <p>★一人一人が収穫の喜びを味わえるように、様子を見守りながら、まだ掘っていない幼児には、声をかけ手伝って上げる。</p> <p>★幼児の気づきや発見、驚きを受け止め共感する。 (ジャガイモの数、大きさ、形)</p> <p>★カレーパーティーの日を楽しみに待てるよう手遊びやうたを教える。</p> <p>★カレー作りの下準備で野菜を切ったり、皮をむいたりするが、安全面に十分配慮する。</p>
<p>生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登園時間を守るようにする。 ・うがいや手洗いをし風邪の予防をする。 ・厚着にならないよう衣服の調整をする。 ・衣服の始末ができるようにする。 	<p>家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風邪の予防に留意してもらおう。 ・皮むきの使い方を家庭でも練習してもらおう。 	<p>絵本・紙芝居</p> <ul style="list-style-type: none"> ★おなかのなかにおにがいの、一寸法師 ★14ひきのさむいふゆ、ないたあかおに ★トッチくんのカレーようび <p>歌、リズム、体操</p> <ul style="list-style-type: none"> ★まめまき、すうじのうた、ゆきのペンきやさん ★カレーライスほいほい、権兵衛さんの赤ちゃん <p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ★せつぶん ★ジャガイモ掘り ★カレーパーティー ★誕生会 ★記念撮影

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○年長児に飼育当番の仕事のやりかたを教えてもらい、飼育活動を喜んでしようとする。</p> <p>○興味を持った遊びに進入して進んで頼み合いしたりしている姿が見られる。</p> <p>○子ども達の仲間意識が強まり、わからないところを友達同士教えあったり、手伝ったりして、自分たちの力で作り上げようとするようになってくる。</p> <p>○お別れ会などを通して、年長児になる期待や喜びをもち、活動的になる。</p> <p>○年長児へのプレゼント作り、修了式への参加を通して、自分たちも、もうすぐ年長組になるという期待をもつようになる。</p>	<p>○年長組になる喜びや期待をもち、進んで遊びや仕事をしようとする。</p> <p>○自分なりの力を発揮しながら、友達とかかわり、いろいろな活動をしようとする。</p>	<p>○年長児への感謝の気持ちと年長組になるという期待をもつ。</p> <p>○お別れ会の記念にプレゼントを作り、感謝の気持ちを表す。</p> <p>○自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞き入れたりしながら遊びを進める。</p> <p>○進んで戸外に出て、友達と一緒にルールのある遊びを楽しむ。</p> <p>○友達と認め合う喜びを感じる。</p> <p>○年長組になるという期待をもつ。</p>
★環境構成 ☆援助・配慮		
<p><u>気の合う友達かかわりを楽しめるように</u></p> <p>★考えを出し合い、数人で集まれる場を作っていかれるものや遊びに必要なものを準備する。 (お店ごっこ、レストランごっこ、ヒーローごっこ、遊園地ごっこなどで使う中型積み木、巧技台セット、折り紙等)</p> <p>★チームに分かれて遊びたい欲求が満たされるような遊びをなげかけける。 (助け鬼、サッカー、中当てトッチボールなど)</p> <p>★十分に遊べる場と時間を確保する。</p> <p>★個々の挑戦ができる遊具を準備する。(鉄棒、とび縄、ボール、フープなど)</p>	<p><u>年長児の修了を祝う気持ちを持つように</u></p> <p>★年長児と一緒に遊びや仕事をすることを準備する。 (飼育物の世話や飼育小屋のそうじなど)</p> <p>★年長児へのプレゼント作りを取り組めるような素材を提示する。 (身近な素材・・・空き缶、アルミホイール、油性ペン、りぼん、紙粘土など)</p> <p>★修了式に参加する機会を持つ。</p> <p>★年長児とのふれあいが楽しめるような雰囲気作りをする。 (お別れ遠足、お別れ会など)</p> <p>★当番活動、プレゼント作り、修了式の準備などについては、「なぜするのか」その必要性に気づかせ取り組めるようにする。</p>	<p><u>身近な社会事象を具体的に感じ取れるように</u></p> <p>★お雑さま作りに関連した教材を準備する。 (色紙、千代紙、画用紙、毛糸、金・銀紙、包み紙など)</p> <p>★お友達や教師も一緒にになって、アイデアを出し合いながらお雑さま作りをする。</p>
<p><u>学級の中でお互いのよさを認め合えるように</u></p> <p>★みんなでゲームを楽しめる機会を持つ。 (フルーツバスケット、じゃんけん汽車、なぞなぞなど)</p> <p>★成長を振り返り、今までに覚えた歌を歌ったりする。</p>	<p>★身の回りのことが、自分たちでできるように確認しあう機会を持つ。 (飼育物の世話、倉庫の掃除、大そうじなど)</p> <p>★新入園児を迎える準備をする。</p> <p>★作品の整理などを通して、自分の成長を知ることができるようになる。</p> <p>★機会をとらえて年長組になる意識付けをしていくと共に、個々に応じて、その成長を言葉で伝え自信をもたせる。</p>	<p><u>もうすぐ年長組になるという期待と喜びがもてるように</u></p> <p>★身の回りのことが、自分たちでできるように確認しあう機会を持つ。 (飼育物の世話、倉庫の掃除、大そうじなど)</p> <p>★新入園児を迎える準備をする。</p> <p>★作品の整理などを通して、自分の成長を知ることができるようになる。</p> <p>★機会をとらえて年長組になる意識付けをしていくと共に、個々に応じて、その成長を言葉で伝え自信をもたせる。</p>
<p>★あいつをする。</p> <p>★いすに腰掛けて話を聞く</p> <p>★所持品の整理をする。</p> <p>★集団のきまりをまもる。</p> <p>★保育室の清掃、遊具の片付けをする。</p>	<p>★1年間の作品(絵など)のつづりを子ども達と一緒に作って持ち帰り、家庭でも話題にしてみよう。</p> <p>★子ども達の成長を保護者と共に喜び合う。</p> <p>★進級するにあたり、親子での清掃の協力を呼びかける。</p>	<p>★ひなまつり</p> <p>★園外保育</p> <p>★3月生まれの誕生会</p> <p>★お別れ遠足・お別れ会</p> <p>★修了式</p> <p>★保育終業式</p>

(2) 5 歳児

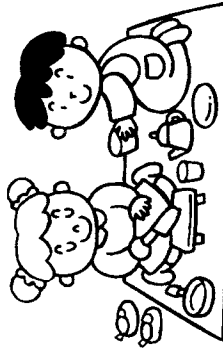
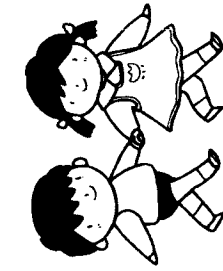
4 月の指導計画・5 歳児

幼児の姿	ねらい	内容
<p><u>新しい生活の場になれよう</u>に</p> <ul style="list-style-type: none"> ★遊具, 用具, 教材などが取り出しやすいように文字や絵で標示する。 ★落ち着いた雰囲気や絵本の世界に浸れるように静かな場所を選び絵本の場を設ける。 ★新しいクラスに期待している子には, うれしい気持ちを受けとめ不安そうにしている子には, 教師と一緒に遊んだり, 誘ったりして遊ぶきっかけをつくる。 ★年少のころ, 経験した遊びをすることで安定しているので, その姿を見守る。 ★年少児の遊びを配慮する場の使い方を考えたり, 安全に気をつけたりする。 ★友だちの中で自分なりの動きができるように ★個々にかかわられて, 年少児から慣れ親しんでいる遊具や材料を準備する。 ★気の合う友だちと安定して遊べる時間を十分とる。 ★個々の行動を認め, 見守り, 幼児に安心感, 信頼感を持たせる。 <p><u>学級の友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるように</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★みんなですべてゲームを楽しめる機会を持つ (フルーツバスケット・じゃんけん汽車・なぞなぞ・しりとり遊びなど) ★年少時に歌った歌を楽しみむ機会を持つ ★友達よさに気づいたり, 助け合ったりする姿を認め, 他の幼児にも知らせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年長児になったことを喜び, 喜んで遊園する。 ○年少のころ慣れ親しんだクラスや遊具で遊ぶ。 ○年少児の面倒を見たり一緒に遊んだりしながら, 年少児に関心を持つ。 ○身近な動植物に親しむ。 	<p>かわいいお花や昆虫・うさぎ・かめ だいすき!</p> <ul style="list-style-type: none"> ★花壇にいらんばちえんすややコスモスなどの摘んで遊べる花をいっぱい咲かせる。 ★花壇の花を使ってまごごと遊びが出来るように, ままごとの場を園庭に設けたりする ★昆虫類の飼育の仕方や扱い方などが, すぐに調べられるように絵本や図鑑の場を設ける。 ★飼育小屋やその周辺を整えて, 見たり餌をあげたり出来るように工夫する。 ★昆虫図鑑を調べて, 子どもたちと共に驚きと発見を共感しあう。 ★教師自身が小動物の世話をしたり, やさしい気持ちで接する姿を見せることで小動物に親しみをもち, いたわったり, 大切にしようとするきもちをそだてる。
★環境構成		
☆援助・配慮		
<p>生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする ・所持品の始末が出来る ・トイレの使い方を覚える ・安全な登降園の仕方を知る 	<p>家庭と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園便りを通して園の様子を伝え, 保護者と共通理解を深め信頼関係をきずいていく。 ・家庭訪問では入園前の様子を聞き取り, 一人一人の育ってきた過程や保護者の願いなどを理解していくようにする。 	<p>絵本・紙芝居</p> <p>ぐるんぱのようちえん ぐりとぐら ねずみのでんしゃ はらぺこあおむし ねずみくんのチョッキ</p> <p>歌・リズム</p> <p>ちゅうりっぷ 先生とおともだち 森の熊さん げんこつやま かごめかごめ 一丁目のどらねこ</p>
行事		
<ul style="list-style-type: none"> ・一学期始業式 ・入園式 ・身体測定 ・交通安全指導 ・家庭訪問 4 月生まれの誕生会 		



5月の指導計画・5歳児

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○年長になったことを喜び、はりきって新入園児の世話をしようとする。また、どのように接すればよいか分からず戸惑う幼児もいる。</p> <p>○仲のよい友達といっしょに4歳時の遊びを再現したりする姿が見られる。</p>	<p>○友達や先生とかかわりながら、安定感を持って生活する。</p> <p>○年少児とかかわりの中からいたわりや思いやりの心を育もうとする。</p>	<p>○年長組になった喜びと自覚が感じられ、積極的に園生活を行おうとする。</p> <p>○植物や飼育物とかかわりの中で、先生や友達といっしょに驚きや発見を共感しあう。</p> <p>○戸外で体を動かす心地よさ、楽しさを味わう。</p>
★ 環境構成 ☆ 援助・配慮		
<p><u>戸外のさわやかな気候、緑の美しさを感じとれるように</u></p> <p>★ 太陽や空の色、日差しや気温の変化を感じながら生活する。</p> <p>★ 室内で使うことの多かった遊具・用具を戸外で活用し、使う場を広げる。(戸外用ござ・サークル・戸外用テーパー・いす・功技台など)</p> <p>★ 表現したくなるようなイメージのもてる音楽を準備する(「ぼかぼかてくてく」「みどりのマーチ」「森の水車」など)</p> <p>☆ 教師も仲間として遊びに参加し、いっしょに楽しさを味わったり、共感したりする。</p>	<p><u>友達の中で自分なりの動きができるように</u></p> <p>★ 年少の頭遊んだどっちボール・サッカー等、気の合う友達と遊べるように遊具や用具を取り出しやすいように準備する。</p> <p>★ 気の合う友達と安定して遊べる時間を充分にとる。</p> <p>★ 片付け、弁当の準備など手順や方法を確認していく機会をもつ。</p> <p>☆ 個々の行動を認め、見守り、幼児に安心感・信頼感をもたせる。</p> <p>☆ 一人一人が学級の中で存在感が持てるようになり、親しみをもたせていく。</p> <p>☆ 母の日について話し合い、感謝の気持ちをもてるようにする</p>	<p><u>年長児としての喜びを持って遊びに取り組めるように</u></p> <p>★ 進んで年少児とかかわれるような機会を持つ(登園時/身体測定の手伝いなど)</p> <p>★ 水やり、片付け等自分たちで進められるような場や道具を準備する。</p> <p>☆ 年少児とかかわる中で、個々に感じている年長児としての喜びを認めていき自覚を促す。</p> <p>☆ 教師がやり方を示したり、いっしょに世話をしたりする中で、自分たちの方法を見つけさせる</p>
<p>生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 衣服の着脱が出来る ・ 飼育物の世話をしよう ・ 安全な登降園の仕方を知る <p>寄り道をしない、交通の決まりを守る</p>	<p>絵本・紙芝居</p> <p>あさがおざりがに 歌・リズム</p> <p>こいのぼり おかあさん せつけんさん ハンカチうさぎびよん たまねぎせつせ</p>	<p>行事</p> <p>弁当会開始 交通安全指導 春の遠足 5月生まれの誕生会 内科・歯科検診 保育参観・学級懇談会</p>



6月の指導計画・5歳児

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○気の合った友達とグループをつくって共通の目的をもって遊ぶようになるが、友達を見つけれなくなると一人で遊ぶ子もいる。</p> <p>○行動範囲広がり、自分で遊びを見つけて活発に遊ぶようになる。</p>	<p>○自分の思いや気づきを教師や友達に伝え、共通の目的をもってあそぶ。</p>	<p>○いろいろな遊びの中で自分なりに考えたり試したり工夫し、のびのびと遊ぶ。</p> <p>○気の合った友達とイメージを出し合いながら遊びを進めていく。</p> <p>○植物の栽培に興味や関心を持ち、自分たちの手で育てていく。</p>
<p>★環境構成 ☆援助・配慮</p>		
<p><u>まわりの自然に興味関心を持ち、生活ごとりでいられるように</u></p> <p>★生長変化、収穫の楽しめる栽培物を準備し直感体験の機会を持つ</p> <p>種：しそ、枝豆など</p> <p>苗：ミニトマト、ピーマン、なす、とうもろこし、ゴーヤーなど</p> <p>★採取してきた小動物を飼う場や必要なものを準備する。</p> <p>(おたまじゃくし、カタツムリ、ザリガニ、観察ケース、たらいの池、木切れなど)</p> <p>★身近な自然に触れ、感じたことや考えたことを意欲的に言葉や行動で表現して楽しませる。</p> <p>(種まきへの期待、土の感触、におい) 種(形・大きさ、芽が出た喜び・美しさなど)</p> <p>☆世話をした効果を認め、植物が喜んでることを知らせ、喜びや意欲を持たせる</p> <p>☆小動物ことごとくで過ごしやすき環境をいっしょに考えたり知らせたりしていく。</p>	<p><u>水あそび プールあそびで楽しんでね!</u></p> <p>★暑さが増すごとに水遊びをする子が増えるので、ミニプールを用意したりホースやペットボトルなどで遊びを広げられるような素材を多めにそろえておく。</p> <p>☆子どもの小さな発見や驚きにも心を寄せ、楽しみ、教師も一緒に共感していく</p> <p>☆一人一人の水への抵抗感を配慮しながら、みんなといっしょに楽しめるように配慮する</p> <p><u>作って見よう! どんないかを作れるかな!</u></p> <p>★気のあった友達とままごとや基礎作りおみせやさん遊びが楽しくなるように積み木やダンボールなどを使ったり、安心して遊べる場をいっしょに作っていく。</p> <p>★父の日のプレゼント作りや七夕の飾りなど、興味をそえられるような材料や素材を準備し子どもたちの目につくよう配置し、時どき要求に応じて一緒に準備する。</p> <p>☆一緒に作る、考える等のかかわり方をしたりアイデアを提示したりする。</p> <p>☆幼児同士が話し、工夫している姿がわかるよう助言し、自信を持たせるようにする。</p>	<p>○いろいろな遊びの中で自分なりに考えたり試したり工夫し、のびのびと遊ぶ。</p> <p>○気の合った友達とイメージを出し合いながら遊びを進めていく。</p> <p>○植物の栽培に興味や関心を持ち、自分たちの手で育てていく。</p>
<p>生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きする習慣を身に付ける ・梅雨時の過ごし方を知る。 ・火災時の安全な避難の仕方を知る。 <p>火事の怖さを知る</p> <p>避難訓練の約束を守る</p>	<p>家庭と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール遊びに伴う健康チェックをしてもらいプールカードや着替えなど忘れないよう協力してもらおう。 	<p>絵本・紙芝居</p> <p>おたまじゃくしの101ちゃん むしばミュージアム タンタンのぼうけん おりょうりとうさん</p> <p>歌・リズム</p> <p>歯を磨きましよう かたつむり かえるのうた あめふりくまのこ</p> <p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯みがき指導 ・園外保育 ・避難訓練 ・プール遊び開始

7月の指導計画・5歳児

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○ 仲間意識が育ち、数人の中で意思統一が可能になって、自分の興味を追及したりするようになる</p> <p>○ 動植物の当番や係の仕事の必要性に気づき進んでするようになる。</p>	<p>○ 友達と一緒にいろいろな遊びに挑戦し、満足感を味わう</p>	<p>○ いろいろな遊びの中で自分なりに考えたり、試したり工夫し、のびのびと遊ぶ。</p> <p>○ 身近な自然の変化を教師や友達と見つけたり、感動をつたえたりする。</p> <p>○ 動植物の生長に興味や関心を持って世話をする。</p>
<p>★環境構成 ☆援助・配慮</p>		
<p>せみみつけた！むしみつけた！</p> <p>★せみや昆虫（かみきりむし、かまきり、かばまだら）が増えてくるので、虫取り網や虫かご、観察ケース用意する。</p> <p>★道具類を大事に扱えるように標示する。</p> <p>★見つけたときの喜びや捕まえたときのうれしさ、逃がしたときやなかなか捕まえられない時の悔しさを教師も一緒に共感していく</p> <p>★夢中になって捕まえるが、その後の世話はおそろそかになりがちになる。一緒に飼育方を調べたり、虫のことをよく知っている友達に聞いたりしながら、世話ができるようにする。</p>	<p>お好み焼きの中にゴーヤーがはいっているよ</p> <p>★栽培園や花壇の環境を整え、興味関心が持てるようにする</p> <p>☆子どもたちと一緒に世話をしながら植物の生長や変化に興味を持たせ、花が咲いたときや実がなったとき収穫して食べたときの感動を共に味わうようにする</p> <p>☆収穫した野菜をお好み焼きやサラダなど調理して、少しづつ野菜が食べられるように励まし、がんばっている姿を受け止めて</p>	
<p>友達とのかかわりが十分楽しめるように</p> <p>★遊びの場を移す、広げる、作り出すなどの場や時間を充分にとる</p> <p>★簡単なルールのある遊びを投げかける。 (ボール回し、フルーツバスケット、いすとりゲームなど)</p> <p>☆学級の友達の中で、個々の幼児の良さ知らせらせるようにする。</p>	<p>もうすぐなつやすみ</p> <p>★体験と結びつくよううたやえほんをじゅんぴする。</p> <p>★友達と一つしよに自分の持ち物や使った整理したり、保育室の掃除をしたりして、夏休みがくることを知らせていく</p> <p>★一学期の生活を振り返り、個々に成長したことを知らせ、喜びがもてるようにする。</p>	
<p>生活習慣</p> <p>・戸外では帽子をかぶって遊ぶ</p> <p>・遊んだ後のかたずけをする</p> <p>・汗をかいたらハンカチでふく</p> <p>・水遊びのとき忘れ物をしない</p>	<p>絵本・紙芝居</p> <p>スイミー ねずみのかいすいよく たなぼたのはなし うちゅうのはなし ぐりとぐらのかいすいよく</p> <p>歌・リズム</p> <p>七夕 せみのうた やっほっほ夏休み アイスクリームのうた キャンプダホイ あさがおこりコリヤ おほしさま</p>	<p>行事</p> <p>・七夕</p> <p>・7月・8月生まれの誕生会</p> <p>・学級懇談会</p> <p>・一学期終業式</p>

9月の指導計画（5歳児）

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○夏休み中に経験したことや、できるようになったことを教師や友達に話したり見せたりする姿が見られる。</p> <p>○気の合った友達と遊ぶことが多いが、簡単なルールを伴う集団のあそびやイメージを共通化しやすい遊びでは、いろいろな友達とかわって遊んでいる。</p>	<p>○友達との遊びの中で互いのイメージを出し合いながら、どのよう遊びを進めていくか探ったり友達とのつながりを楽しもうとする。</p>	<p>○それぞれの考えを出したり受け入れたりして共通のイメージの中で遊ぶ楽しさを知る。</p> <p>○友達の良さに気づき、受け入れて遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○自分の祖父母や身近なお年寄りとの触れ合いを通して温かさを感じ取って親しみをもつ。</p>
<p>★ 環 境 構 成 ・ ☆ 援 助 配 慮</p>		
<p>☆長い休みを終え久しぶりの園生活を喜んでいる子と、不安そうにしている子がいるので一人一人のペースを考慮して園生活を取り戻せるようにする。</p> <p>★園内外の整理や遊具や用具の点検を十分にしておいて、安全に遊べるようにしておく。</p>		
<p>また一緒に幼稚園であそべるね!</p> <p>★園生活のリズムを取り戻し、自分で生活や遊びが進められるように場の使い方をみながら考えたたり生活の仕方を確認する。</p> <p>★友達と考えを出しあいながら遊べる遊具や材料を準備する。 (ままごと、リズム表現、製作あそび、積み木あそび...)</p> <p>☆友達の中にスムーズに溶け込めない子には、かわわがりがもてるよう共通の話題をもつ、遊びに誘うなどの援助をする。</p> <p>☆子供の言動を受けとめ、要求を満たせるようにしていく。</p> <p>☆友達同士認め合っている姿に共感したり、友達の行動に目が向くよう声をかけたりしながら、受け入れ合っているようにする。</p>		
<p>エイサーを踊ろう カチャチャーシーを踊ろう</p>		
<p>★夏休みに体験したエイサーやカチャチャーシーの曲を流したり子ども達がよく知っている曲や、好みそうな曲を準備し、自分たちでラジカセを操作できるようにしておく。</p> <p>☆一人一人の取り組んでいる姿を認め、励ましながら自信につなげるようにする。</p>		
生活習慣	家庭との連携	絵本・紙芝居 行事
<p>*園生活のリズムを取りもどす。</p> <p>*遊んだ後の片づけをする。</p> <p>*身のまわりの始末の仕方の再確認をする。</p>	<p>*園庭周辺の親子清掃の協力を呼びかける。</p> <p>*敬老の日の集い（お招き会）の案内を出して、参加を呼びかける。</p>	<p>14ひきのおつきみ、パパお月さまとって だっだっのおおばあさん、たんまりこおろぎ</p> <p>歌・リズム</p> <p>とんぼのめがね、うんどうかいのうた ラジオ体操</p> <p>*2学期始業式 *身体測定 *お招き会（おじいさん・おばあさん） *親子清掃</p>

10月の指導計画（5歳児）

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>○友達に対する信頼や思いやりが芽生える一方、自己主張もみられ、トラブルもある。</p> <p>○運動遊びに対して自分なりの目標をもち苦手な活動に対して挑戦しようとする姿が見られる。</p>	<p>○グループや学級の友達と 思っていることや考えて いることを出し合って、 力いっぱい活動すること の楽しさを味わう。</p>	<p>○運動遊び、リズム遊びに興味をもち友達と考えを出しあいが ら進んで参加し楽しむ。</p> <p>○自分なりの目当てをもって挑戦したり友達の様子をみて自分もや ってみようとして挑戦する。</p> <p>○目的に向かって活動する中で、個の力を発揮し自信を持つ。</p>
<p>★ 環 境 構 成 ・ ☆ 援 助 配 慮</p>		
<p>次は○○に挑戦しよう！ みんなで力を合わせて頑張ろう！</p> <p>★のびのびと身体を動かしたり十分に自己の力を発揮したりできる広い場を確保し、必要 な用具を準備する。 （バトン、サッカーボール、ドッチボール、鬼あそびなど）</p> <p>★友達が一生懸命取り組んだり、何度も挑戦し頑張っている姿を見せ合う場を設けたり、 友達の頑張りを認め合える雰囲気づくりをする。</p> <p>☆遊びが深まり、いろいろな運動遊びに挑戦していく姿を認め、励まし「○○ができた」 「○○ができるようになった」という気持ちを共感していくようにする。</p> <p>★集団演技等イメージを描きながらリズムに合わせて踊ったり楽しみながら表現遊びがで きるように小道具等を準備する。</p> <p>☆運動会のプログラムに合わせて行動し、必要に応じて教師が援助し、最後までやり遂げ る満足感を味わわせる機会とする。</p> <p>☆運動会の全体の中の約束ごとがわかるようにする。</p> <p>★運動会の遊びが発展していくように遊具や用具をいつでも使えるようにしておく。</p>	<p>自然と触れ合う中で、直接体験を広げよう！</p> <p>★春咲き植物の球根やじゃがいもの球根を植えたりする。 （チューリップ、スイセン、ヒヤシンス、フリージャヤー、じゃがいも等）</p> <p>★畑には幼児に身近な冬野菜の種を用意し栽培する。 （人参、ピーマン、ねぎ、しそ等）</p> <p>★興味をもったことを確かめたり調べたりできるような絵本や図鑑をじゅんびする。 （絵本「ヒヤシンス」「じゃがいも」「たね」図鑑など）</p> <p>★園内の生きものだけでなくいろいろな生き物と接し興味を広げていく機会をもつ。 （動物園への遠足、ハーブ園散策）</p> <p>☆幼児の驚き、喜びを十分受けとめ、一緒に共感していく。また、気付きや発見、関心 を広めたり深めたりできるように全体へも知らせたり、一緒に考えたりしていく。</p> <p>☆教師が一生けん命世話をしながら、植物への愛情の気持ちをもたせていく。</p>	<p>★運動会 *視力・聴力検査 *秋の遠足 *10月生れの誕生会 *新入園児受付</p>
<p>生活習慣</p> <p>*登園時間に遅れないようにする。 *外に出る時は帽子をかぶる。 *汗をかいたらふいたり、衣服を着替える。 *休息をとる。 ※朝食をしっかりとる。</p>	<p>家庭との連携</p> <p>*運動会のねらいや、取り組み方を わかりやすく伝え、登園時間に遅 れがちの子には連絡をとり、協力 依頼をする。 *汗をかいたら着替えることができ るように家庭との連携をもつ。</p>	<p>絵本・紙芝居</p> <p>だるまちゃんてんとぐやん、とべバツタ わたしのワンピース、大きな木 とんぼのうんどうかい、おふろだいすき 歌・リズム うんどうかいのうた、りんごとみかん ジャンケンゲーム、テクノダック</p> <p>行事</p>

11月の指導計画（5歳児）

幼稚園の姿	ねらい	内容
<p>○友達と一緒に遊びを進めようという気持ちがあり、相手の考えやイメージを受けとめて遊びを進めようとする。しかし、うまくいかずトラブルになることもあるが、自分達で解決しようとする。</p> <p>○友達の間で得意なことや頑張っていることに気づき、認めようとする。</p> <p>○秋の自然の変化に興味や関心をもち、気づいたことを素直に表現する。</p>	<p>○友達と一緒にいろいろな遊びを試し工夫したりしながら深まりのある遊びを楽しむ、充実感を味わう。</p>	<p>○自分なりの目標に向かって工夫したり挑戦したりする。</p> <p>○年少児との接し方を知り、思いやりの気持ちをもつ。</p> <p>○学級の課題を個人やグループで受けとめ、自分なりに取りくみ、みんなのでやりとげた満足感や達成感をあじわう。</p> <p>○自然の事象や自然物に触れ、興味や関心をもつ。</p> <p>○落ち葉、木の葉など自然物を使って遊ぶ。</p>
★ 環境構成 ☆ 援助 配慮		
<p><u>季節による自然の変化を感じるように</u></p> <p>★園内や地域の自然環境に触れる機会を多くもつようにする。</p> <p>★採集したものを整理し、遊びに使えるように準備していく。</p> <p>★落ち葉や紅葉を集めて形や色を楽しみながら貼り絵をしたり、お面を作ったり等イメージを広げて遊ぶ場を設ける。</p> <p>★自然の変化や現象を見逃さずに取り入れていく。 (紅葉の始まり、風に舞う落葉、ザリガニの赤ちやんの生活など)</p> <p>☆教師も感じたことを素直に出し共感していく。</p> <p>☆秋を感じる短い時期なので機会を捉えて自然の変化に気づかせたり、まつぼっくり、モモタマナの実など自然物で遊ぶ楽しさを味わわせるようにする。</p> <p><u>見てよ、じょうずになったよ</u></p> <p>☆縄跳びや跳び箱、フラフープなど挑戦してできたものをおゆうぎ会でみせたいという気持ちを大切に受けとめ、積極的に取り組めるようにする。</p>	<p><u>ルールってあるんだね!</u></p> <p>★ドッチボール、サッカー、野球、鬼遊び、リレー等みんなで遊ぶ経験しながら共通のルールを作ったり守ったりする。</p> <p>☆自分達でも楽しく遊びを進めていけるように子ども達と一緒にルールを考えたり作ったりしながら援助していく。</p>	<p><u>エイサーだいすき!! ダンスだいすき!!</u></p> <p>★子供達自身がやりたくなるような、親しみやすい曲を用意したり必要な用具を準備したりして、表現あそびが出きるようにする。</p> <p>☆楽器を大切に扱い、適切に使うように知らせていく。</p> <p>☆表現遊びや運動遊びをおゆうぎ会で見てもらおうと声をかけ、さらに意欲をもって取り組めるようにする。</p>
★ 生活習慣		
<p>* 衣服の調節をする。</p> <p>* 廊下は静かに歩く。</p> <p>* 安全な非難の仕方を知る。</p> <p>・避難訓練の約束を守る。</p> <p>・消防士の仕事の大切さを知る。</p>	<p>家庭との連携</p> <p>* 秋の自然に興味をもてるよう近隣の公園や木の実、木の葉など自然物を使って遊べる場を紹介していく。</p> <p>* おゆうぎ会に向けて、子ども達の取り組んでいる様子を知らせ、子どもの励みとなるようにしていく。</p>	<p>絵本・紙芝居・行事</p> <p>おおきなおおきなおいも、カラスのパンやさん しよぼうじどうしやぶた、すてきな三人ぐみ だんごどっこいしょ ロボットカミイ</p> <p>歌・リズム</p> <p>ちいさい秋みつけた やきいもグーチャーパー ジャンケンミキサー まつぼっくり どんぐりころころ</p> <p>* 就学時健康診断 * 避難訓練 * 11月生れの誕生会</p>

12月の指導計画（5歳児）

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○友達同士のつながりがより深まり、お互いが理解しあおうとする姿がみられる。しかし、まだ自己主張が強く、トラブルが起こることがある。自分たちで解決しようとする姿もみられる。</p> <p>○おゆうぎ会に向けて、友達同士で話しあったり、自主的に練習したりして楽しんでいる姿がみられる。</p>	<p>○友達と一緒にいろいろな遊びを試したり、工夫したりしながら、深まりのある遊びを楽しみ充実感を味わう。</p> <p>○共通の目的にむかって友達と一緒に協力しながら活動に取りくもうとする。</p>	<p>○友達とイメージを共にしながら遊びを進め楽しさを共感しあう。</p> <p>○戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○感じたこと、考えたことを文字を使って表現しようとする。</p> <p>○年末年始の行事を知り、経験を深める。</p>
<p>★ 粟 境 構 成 ・ ☆ 援 助 配 慮</p>		
<p>共通のイメージをもって劇あそび、製作あそび等が楽しめるように</p> <p>★あそびの刺激となるような場や教材を用意する。 （OHP、指人形、劇あそびに発展しそうな絵本など）</p> <p>☆教師が作ったものを見せたり、仲間の一員となって作りあげたものを見たりすることで自分達でもやってみようという気持ちをもたせていく。</p> <p>★みんなでお互いのあそびを見せあう場をもつ。</p> <p>☆みんなの中で表現できた喜びや楽しさを味わい自信がもてるようにしていく。</p> <p>☆自分の思いどおりにならないことで、友達とのトラブルが起きたときには、それぞれの気持ちを十分に受けとめ保育者が仲立ちをして相手の思いが伝わるようにする。</p>	<p>サンタさんについて？</p> <p>★クリスマスに関する絵本や話をしたり保育室を飾りつけたりして雰囲気作りをする。</p> <p>★クリスマスに期待をもちプレゼントを入れるくつ下やツリー等の製作ができるように色画用紙、モール、リボンなど材料を用意しておく</p> <p>もうすぐぶゆやすみだね</p> <p>☆年末年始の社会事を意識的に話題にとりあげる。 （年末年始の社会の様子、大みそか、元旦、初もうで、年賀状、もちなど）</p> <p>☆一人一人の成長を振り返りながら一年が終わり新しい年を迎えることを感じとらせる。</p> <p>★子ども達と一緒に保育室をきれいにしたり、遊具や用具の整理をしたりして3学期に期待をもたせる。</p>	
<p>生活習慣</p> <p>*うがい、手洗いの習慣を身に付ける。</p> <p>*厚着をしないよう衣服の調節をする。</p> <p>*遊具や用具、自分の身のまわりを片づける。</p>	<p>家庭との連携</p> <p>*風邪の流行する時期なので、うがい手洗いの習慣を身につけさせる。</p> <p>*冬休みの過ごし方を、しおりを通して家庭へ協力依頼する。</p>	<p>絵本・紙芝居・歌・リズム</p> <p>てぶくろ、ぐりとぐらのおきやくさま かさじぞう、ねぼすけサンタ</p> <p>ジングルベル、あわてんぼうのサンタクロース お正月、十二支かぞえうた 友だちになるために</p> <p>行事</p> <p>*おゆうぎ会 *12月生れの誕生会 *おたのしみ会 *二期終業式 *冬休み</p>

1月の指導計画（5歳児）

幼児の姿	ねらい	内容
<p>○冬休みあけ、友達と遊べることを期待してはりきって登園し、暮れからの遊びの続きや、文字や数量を使った知的な遊びに関心をもち、友達と一緒に考えあつて遊びを進めている。</p> <p>○冬休み中の経験からカルタ作り、年賀状作り、たこ作りなどへの発展がみられる。</p>	<p>○個々の興味を広げながら友達とのつながりを深め充実感を味わう。</p>	<p>○文字、数、言葉などに触れる機会を多くもち、興味や関心を深める。</p> <p>○友達と楽しく生活するための決まりの大切さに気づき自分たちでルールを使ったり、守ったりして遊びや生活を進めていく。</p> <p>○昔から受け継がれてきた行事に関心をもち、</p> <p>○桜の開花などの自然の現象や変化に気づく。</p>
★ 環境構成 ☆ 援助配慮		
<p><u>正月あそびは楽しいな</u></p> <p>★カルタ作り、トランプ、すごろく、幅笑い、こままわし、はねつき等、伝統的な遊びにかかわつてあそぶ場や時間を充分にとる。</p> <p>★年少児にこままわしを見せたり、ひものまわし方を教えてあげたりしながら自信とやさしさを培えるように配慮する。</p> <p>★幼児なりに工夫しているところを認め、ほめてあげたりして満足感を味わわせるようにする。</p>	<p><u>桜の花きれいな</u></p> <p>★園近くを散歩したり公園に行ったりして、桜の花見をしたり、周辺の草花を見たりして春が近づいていることに気づかせる。</p> <p>★園庭の周辺にも目を向けさせ、友達どうしで春を見つけたり感じたりして自然に触れさせるようにする。</p>	<p><u>鬼っているのかな</u></p> <p>★郷土の行事や伝統行事にふれ、由来などに興味や関心をもたせ、ムーチー作りや節分に関する取り組みなど楽しめようにする。</p> <p>★絵本や紙芝居などを読みかきかせ、郷土の行事を昔話などを知る機会にする。</p>
<p><u>戸外で体を動かして元気にあそぼう</u></p> <p>★ドッチボール、サッカー、マラソンなどみんなで身体を動かして楽しめる用具や道具を用意する。</p> <p>★やりたい仲間が集まるだけでなく、時にはクラス対抗戦や保護者にも参加してもらおうなどの機会をつくっていく。</p> <p>★季節感のある歌をうたう機会をもつ。</p> <p>★厚着になり室内にこもりがちになる子どももいるので、寒さの中でも戸外に出て仲間とあそぶ楽しさを見出し出しているよう援助していく。</p>	<p>家庭との連携</p> <p>*風邪の流行する時期なので予防を心がけ手洗い、うがい、睡眠、バランスのとれた食事など冬の健康管理を家庭と協力していく。</p>	<p>絵本・紙芝居・歌・リズム</p> <p>十二支のはなし、おにムーチーももたろう、かさじぞう</p> <p>やぎさんゆうびん、たこのうた</p> <p>はつゆめよいや</p>
<p>生活習慣</p> <p>*うがい手洗いをして風邪の予防をする。</p> <p>*衣服の調節をする。</p> <p>*ポケットに手を入れて歩くと危ないことを気づかせ、守るようにする。</p>	<p>行事</p> <p>*3学期始業式</p> <p>*身体測定</p> <p>*ムーチー作り</p> <p>*1月生れの誕生会</p> <p>*こままわし大会</p>	

2月の指導計画（5歳児）

幼 児 の 姿	ね ら い	内 容
<p>○友達やグループのつながりがふかまわり、友達どうしで活動する楽しさもわかり、自発的に遊びが生れてくるようになっていく。</p> <p>○友達どうしで教えあったり、助けあったりする思いやりの姿がみられる。</p> <p>○大勢で話を聞く時、注意力や持続時間も長くなり、友達どうしで注意しあう姿もみられる。</p>	<p>○友達と一緒に共通の目的をもつて、遊びや仕事を進める。</p> <p>○もうすぐ一年生になるという自覚をもつ。</p>	<p>○昔から受け継がれてきた行事に関心を持つ。</p> <p>○寒さの中でも体を動かしてみんなと遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○感動したり共感を深めたりする。</p> <p>○収穫の喜びを味わい自分達で収穫したものを試食する。</p> <p>○葛藤や挫折感など味わいながらも、それを乗り越えて活動を進め、友達と一緒に満足感をもつ。</p>
<p>★ 環 境 構 成 ・ ☆ 援 助 配 慮</p>		
<p><u>友達と感動を共にできるように</u></p> <p>★気持ちが揺さぶられ、心に残る絵本、童話を用意する。</p> <p>☆絵本の言葉を大事にし、読み方を工夫する。</p> <p><u>自分達で考えて活動が進められるように</u></p> <p>★週や月の予定を幼児がわかるように表示する。</p> <p>★遊具や素材は幼児と共に収納の仕方を教えて提示する。</p> <p>★友達どうしの問題については内容に応じて学級全体で考えられる場を設ける。</p> <p>☆一人一人の特性や意欲をとらえ、存在感を気づかせるよう配慮する。</p> <p>☆教師の助言、提案などの出し方に配慮し、幼児自ら進んで行動している場面をとらえ、自信につながる言葉かけをする。</p> <p>☆グループ内の力関係を調整したり、個の特性や意欲をとらえ役割の中で生かせるよう援助していく。</p> <p>★ひな祭りの雰囲気味わえるように事前に子ども達とひな壇を準備し、人形や小道具などを飾ったりしていつでも鑑賞できるように場を整えていく。</p> <p>☆小学校と連携をもち、学習発表会（試演会）を見学したりして就学への期待感をもたせる。</p> <p><u>この時期の社会事象に関心がもてるように</u></p> <p>★節分に関する教材、素材を用意する。</p> <p>（鬼のお面作りに必要な材料、折り紙、伝承の歌、節分行事のニュース、鬼に関する絵本など）</p> <p><u>わあー じゃがいもみつけた</u></p> <p>★じゃがいもの収穫ができるよう、子ども達と一緒に畑の周辺を整えたり、用具を準備したりする。</p> <p>☆じゃがいもを数えたり、大きさ比べをしたり形のおもしろさなど、子どもの気づきや発見、驚きを受けとめ共感する。</p> <p>☆カレーパーティーに期待を持たせ、試食会の際は準備や配膳の手伝いも出きるようにならせる。</p> <p><u>戸外で意欲的に遊べるように</u></p> <p>★友達と勝負合ったり、競い合ったりして遊べる場や時間を確認する（ボールあそび、助け鬼、長縄とび、一人縄とびなど）</p> <p>☆教師も積極的に戸外に出て、仲間の一員として遊びを楽しむ。</p>		
<p>生活習慣</p> <p>* 手洗い、うがいをする。</p> <p>* 園生活のきままりを再確認する。</p> <p>* 遊んだものは下の場所へもどす。</p> <p>* 安全な登降園の仕方など。</p>	<p>家庭との連携</p> <p>* 風邪の予防に留意してもらおう。</p> <p>* 伝染病（水ぼうそう、耳下腺炎など）にかかった場合の欠席について確認のため知らせる。</p>	<p>絵本・紙芝居</p> <p>泣いた赤鬼、スーホの白い馬 つるのおんがえし、ロボットカミイ 歌・リズム</p> <p>まめまき、こんこんくしゅんのうた カレーちゃん、すうじのうた</p> <p>行事</p> <p>* 節分 * じゃがいも堀り * カレーパーティー * 2月生れ誕生会 * 修了記念撮影</p>

3月の指導計画（5歳児）

幼稚園の姿	ねらい	内容	
<p>○「机があったよ」「ランドセルかかってもらったよ」などと報告をして満足する姿があり、もうすぐ一年生という自覚をもって行動しようとする姿がみられる。</p> <p>○遊びや生活の中に自信のある行動がみられる反面、不安を示す子もいる。</p>	<p>○幼稚園を修了すること意識し就学への期待をもって行動する。</p>	<p>○身近な植物や生き物に関心をもつ。</p> <p>○自分の成長を実感し、自信をもち就学への期待を高める。</p> <p>○お世話になった人々に感謝の気持ちをもつ。</p> <p>○園生活を充分満喫し、充実感を味わう。</p> <p>○体を通して春の訪れを感じる。</p>	
<p>★環境構成・☆援助配慮</p>			
<p><u>修了を意識して、生活していかれるように</u></p> <p>★2年間を振り返り自分たちの生活を確かめ合う機会をつくる。 （絵の整理、楽しかったゲームや歌、生活の場の整理、歌：おもいでのアルバムなど）</p> <p>☆幼児と園生活を振り返り思い出し合い、終了する気持ちを高める。</p> <p>★年少さんに飼育当番の仕事や話を教えたり、年長さんならではの遊びを伝えたりする機会をもつ。（動植物の世話、ドッチボール、お別れ会など）</p> <p>★修了式の日まで見通しをもって生活できるようにカレンダーや予定表を示す。</p> <p>★幼児が十分に遊ぶ時間を確保し、一斉活動もと入れていく。</p> <p>★年少のクラスの担任と連携をとりながら、交流を深めて残り少ない年少児との生活を十分楽しめられるように機会をもつ。</p> <p>☆機会をとらえて一人一人の成長を喜ぶ。</p> <p>☆幼稚園生活に関係の深いいるるな人に、感謝の気持ちをもち</p> <p><u>日頃親しんでいた公園へ出かける機会をもつ</u></p> <p>☆年少児と共に行き慣れた公園で思いっきりありそび幼稚園の思い出にする。</p>	<p><u>もうすぐ1年生!</u></p> <p>★小学校の生活の場に実際に触れられる機会をもつ （小学校見学、歌：「ドキドキ1年生」「1年生になったら」など）</p> <p>★1年生との交流会をもち、就学の期待をもたせる。</p> <p>☆小学校の様子を具体的に話したり実際に見たりしながら安心感がもてるようにする。</p> <p>☆就学への不安を示す幼児に対しては、成長している点を知らせ、自信がもてるようにする。</p> <p><u>自分の力を発揮し、友達によさも認めあい遊びが充実していくように</u></p> <p>★目標をもって取り組める遊具や場を提示する。（駒、長縄、短縄、お手玉、あやとり）</p> <p>☆教師は仲間として遊びに加わり、楽しさを一緒に味わう。</p> <p>☆友だちのよいところ、成長したところに気付き合う姿に共感する。</p> <p>☆トラブルについては、幼児間での解決を見守りながら、必要に応じて話し合いに加わる。</p>		
<p>生活習慣</p> <p>*あいさつをする。</p> <p>*いすに腰掛けて話を聞く</p> <p>*所持品の整理をする</p>	<p>家庭との連携</p> <p>*子ども達の成長を保護者と共に喜びあう。</p> <p>*修了にあたり親子での清掃協力を呼びかける。</p>	<p>絵本・紙芝居</p> <p>のはらのひなまつり、もうすぐ1年生 あいうえおの本</p> <p>歌・リズム</p> <p>うれしいひなまつり、おもいでのアルバム ドキドキ1年生、1年生になったら</p>	<p>行事</p> <p>*一年生との交流会</p> <p>*ひなまつり会</p> <p>*保育参観及び懇談会</p> <p>*お別れ遠足</p> <p>*3月生れの誕生会</p> <p>*親子清掃</p> <p>*終業式</p> <p>*修了式</p>

Ⅷ 研究の成果と今後の課題

1. 研究の成果

- (1) 文献や2年保育実施園の教育課程や研究資料等を参考に2年保育の教育課程を編成することができた。
- (2) 2年保育の教育課程を編成するにあたって、指導書や研究資料及び検証保育等を通して4歳児の発達段階を捉えることができた。その姿は5歳児に重なる部分もあり、幼児の発達段階を理解する上で大変参考となった。
- (3) 理論研究を進める中で、幼児の園生活の姿から一人一人の発達を理解し、それぞれの時期に何をねらいとし、そのために何を経験させて、発達を促していくのか、教師の役割の重要性を再確認できた。
- (4) 幼稚園は本来、3歳から小学校入学までの幼児を入園させて教育を行う学校であり、幼児期の教育は、生涯にわたる人間としての健全な発達や社会の変化に主体的に対応し得る能力の育成を図る上でその基礎を培うものとして重要である。その大切な保育期間が1年という短い期間しかないと、行事をこなしていくのが精一杯であり、一人一人の幼児の発達に合わせたきめ細かな保育をしていくには、2年～3年の保育期間が必要であると実感した。
- (5) 2年保育を行っている北中城幼稚園において、聞く態度、挨拶、片付け等の基本的な生活習慣をしっかりと身につけ活動している4歳児の姿や、さりげなく4歳児を思いやりながらかかわっている5歳児の姿に1年保育にはない落ち着きや異年齢の育ち合いを見ることができた。2年間という保育期間や幼児の発達を見通した計画的な指導内容が全職員の共通理解の基に進められていく大切さを理解することができた。

2. 今後の課題

- (1) 「人とのかかわり」「遊びに関する事」「自然とのかかわりに関する事」「生活の自立に関する事」の四つの観点から、1年保育、

2年保育、3年保育の教育期間の違いが、幼児の発達に及ぼす影響やその姿にどのような差異が現れるか全国国公立幼稚園長会が平成5年に調査した結果がある。いずれも3年の教育期間が幼児の望ましい成長発達に必要であるとしている。3年間という期間は、教師がじっくりと幼児とかかわり、心のつながりを深め、発達を見通すことができる。また、幼児は、信頼できる教師に見守られながら、友達とのつながりを深め、いろいろな経験をゆとりをもって積み重ねることができる。このことが幼児の生活や遊びを豊かにし、自ら周囲の環境に働きかけ、主体的に行動できる幼児を育てていくことにつながると考えられる。本市においては、1年保育の現状だが、アンケートの調査結果からも明らかなように、2年保育を望む保護者が半数以上いる。また、現在の幼児を取り巻く環境の変化は、幼児期にふさわしい生活を確保するには、多くの課題がある。そこで、幼児の望ましい成長発達にふさわしい環境を整えた幼稚園において、2年保育の実現を本市の教育機関に強く要望したい。そのことが、幼児の心豊かな育ち合いにつながると考える。

- (2) 教育課程の編成や年間指導計画の作成については主に2年保育実施園の資料等を参考にしながら作成した。しかし、当初の研究目標に掲げた地域や園の特色については、十分に取り入れることができなかつた。そこで、このことについては、現場実践の中で修正を加えていきたい。
- (3) 現在の核家族では、幼児がいる家庭には中学生・高校生など年齢の離れた兄弟姉妹がいないなど、異年齢交流の機会に乏しい傾向にある。これからの時代は、幼稚園で継続的、計画的に異年齢交流を計画することが求められる。中学生・高校生等の保育体験学習など、地域の異年齢の子どもとの交流は、幼児にとって貴重な体験となるばかりでなく、中学生・高校生にとっても年下の子どもと接する楽しさを実感し、子

育ての喜びや大切さ、親の役割等について自ら認識を深め考える機会にもつながる。例えば、自分が卒園した幼稚園を訪れ、幼稚園時代の自分を投影することにより、注がれた愛情の大きさを再認識した例や、不登校になりがちな生徒が年下の子どもたちとのかかわりを持ち信頼を得ることによって立ち直った例もみられる。また、幼稚園において、地域の行事に参加したり老人福祉施設を訪問するなど、高齢者や地域の大人との触れ合いや交流を深めることは、幼児の社会体験・直接体験を豊かにする。このことから交流体験を十分な理解を図りながら進めていきたい。

3. 終わりに

研究を進めていくなかで、幼児教育の大切さ、幼児に関わる教師の役割や環境の重要性を再認識することができました。これまでの保育をふりかえると「幼児との信頼関係はちゃんと築いていただろうか」、「幼児一人一人の発達をとらえていただろうか」、「発達に合ったねらいや内容を設定し、環境を構成していただろうか」と反省することばかりでした。また、検証保育を通して幼児期における育ち合い（学び合い）をより豊かにしていく上で、2年保育及び3年保育がいかに大切かを知ることができました。まだ、2年保育は実現されていませんが、幼児一人一人の良さや可能性を捉え、適切な援助ができるよう教育要領の理解ならびに支援の方法を深めていきたいと思えます。

本研究を進めるにあたって、ご指導くださいました白川幼稚園の教頭 金城恵子先生には、幼児教育の重要さとそれに携わっている教師の学ぶことの大切さを教えていただきました。厳しい中にも心温まるご指導ありがとうございました。

検証保育をするにあたって快くご協力いただきました宜野湾保育所の所長はじめ先生方、北中城幼稚園の園長はじめ先生方に厚くお礼申し上げます。

研究所の所長初め先生方、職員の皆様の日々の

温かい励ましに深く感謝申し上げます。

<主な引用文献・参考文献>

- ・ 小川博久他編著『新幼稚園教育要領の解説』ぎょうせい 1999。
- ・ 小林洋文編 『保育カリキュラムを作る初めの一步』 新読書社
- ・ 神長美津子他編著 『4歳児のクラス運営』 ひかりのくに 2000。
- ・ 神長美津子他編著 『5歳児のクラス運営』 ひかりのくに 2000。
- ・ 川原佐公他編著 『4歳児マニュアル』 ひかりのくに 2000。
- ・ 文部省 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 1999。
- ・ 文部省 『新しい時代の幼稚園教育を実現するための施策提言』 2000。
- ・ 全国国公立幼稚園長会『3年保育の実現に向けての基礎研究』 1993。
- ・ 沖縄県教育委員会 『3年保育の教育課程編成要領』 1996。
- ・ 沖縄県教育委員会『幼稚園教育課程編成要領』 2000。
- ・ 東風平町立白川幼稚園 『教育課程・指導計画』 『幼稚園教育課程研究の成果』 1999。
- ・ 東風平町立東風平幼稚園『教育課程・指導計画』 『幼稚園教育課程研究の成果』 1999。
- ・ 品川区立かえで幼稚園 『教育課程・指導計画』 1990。
- ・ 浦添市立教育研究所『研究報告集録 22号』 1999。
- ・ 北中城村立北中城幼稚園『教育計画』 2001。

<研究協力者>

宜野湾市立宜野湾保育所

〔松本美恵子, 成底綾乃, 仲宗根洋子〕

北中城村立北中城幼稚園

〔宮城永昌, 比嘉ヨシエ, 安里律子, 與嶺美智子, 宮里悦子〕